

令和7年度
(令和6年度対象)

教育委員会の点検・評価報告書

令和7年8月

大洲市教育委員会

目 次

◇ はじめに	1 ~ 8
1 令和6年度大洲市教育委員会教育基本方針・主要施策	3
◇ 教育委員会活動報告	9 ~ 12
◇ 点検・評価結果	13 ~ 101
1 基本方針1 確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成	18
2 基本方針2 郷土を愛する心と世界に通用する人材の育成	28
3 基本方針3 個性を生かし可能性を伸ばす教育の推進	34
4 基本方針4 生涯学習の推進	37
5 基本方針5 文化・芸術の振興	47
6 基本方針6 スポーツの振興と健康・体力づくりの推進	61
7 基本方針7 社会総がかりで取り組む教育環境づくり	76
8 基本方針8 子供と向き合う教育環境づくり	82
9 基本方針9 安全・安心な教育環境の構築	94
◇ 参考資料	103 ~ 105
大洲市教育委員会外部評価委員会設置要綱	104

は じ め に

1 趣 旨

大洲市教育委員会では、平成 27 年度に策定した「大洲市教育大綱」における「ふるさと“大洲”を愛する人づくり」の基本理念のもと、3つの基本目標を達成するための基本方針に基づき教育主要施策を定め、様々な事業を展開し、大洲市教育の充実・発展に努めています。

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 26 条では、「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならない。」と規定されています。

このことから、大洲市教育委員会では、効果的な教育行政の推進を図るとともに、市民の皆様への説明責任を果たすため、令和 6 年度の教育委員会の点検及び評価（以下「点検・評価」という。）を実施し、外部評価委員の意見も交え報告書にまとめました。

2 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、「教育基本方針」に基づき、毎年度策定している「教育主要施策」に位置付けて実施した施策・事業とし、基本方針 9 項目、75 事業について評価を行いました。

(1) 事業年度

令和 6 年度

(2) 教育基本方針

- ① 確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成
- ② 郷土を愛する心と世界に通用する人材の育成
- ③ 個性を生かし可能性を伸ばす教育の推進
- ④ 生涯学習の推進
- ⑤ 文化・芸術の振興
- ⑥ スポーツの振興と健康・体力づくりの推進
- ⑦ 社会総がかりで取り組む教育環境づくり
- ⑧ 子供と向き合う教育環境づくり
- ⑨ 安全・安心な教育環境の構築

3 点検・評価の方法

- (1) 点検・評価に当たっては、個々の施策・事業ごとの実施状況及び成果を明らかにするとともに自己評価を行いました。
- (2) 点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する方を外部評価委員として委嘱し、御意見、御提言をいただきました。委員の方々は次のとおりです。

◇大洲市教育委員会外部評価委員会委員

(敬称略)

区 分	氏 名	備 考
委 員	藤岡 朋	元大洲市立学校長、元中央公民館長
委 員	西山 千春	前大洲市教育委員会教育委員
委 員	奥田 稔	元大洲市 P T A 連合会会長
委 員	源田 政幸	前大谷自治会長
委 員	古野 誉	元河辺中学校 P T A 会長

4 点検・評価結果の構成

(1) 主要施策

点検・評価の対象を「令和 6 年度大洲市教育委員会基本方針・主要施策」に掲げる 9 の基本方針にまとめ、方針ごとに点検・評価を実施しています。

(2) 主な事業の目的、実施状況、事業の成果、課題・問題点

主な施策・事業の目的や実施状況とともに、その成果や課題・問題点を整理しています。

(3) 外部評価委員の意見

教育委員会事務局が行った点検・評価の結果について、外部評価委員の方々からいただいた主な意見を掲載しています。

5 実施状況の報告

点検・評価結果の参考として、点検・評価の対象とした 75 の施策・事業について、「主要施策・事業調書」により個別の実施状況及び成果、課題・問題点等を掲載しています。

令和6年度 大洲市教育委員会教育基本方針・主要施策

大洲市教育委員会は、大洲市教育大綱における「ふるさと“大洲”を愛する人づくり」の基本理念のもと、3つの基本目標を達成するための基本方針に基づき、令和6年度の教育主要施策を次のように定め、大洲市教育の充実・発展に努めます。

基本目標1 未来を拓く^{ひら}子供の育成

<基本方針>

1 確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成

子供一人一人に応じた指導方法の工夫・改善により、課題を見いだし、解決する能力を育み、ICT機器の特長を生かし確かな学力の定着と向上に努めます。また、自他の生命を尊重し、人を思いやる心を育む道德教育に取り組むとともに、望ましい生活習慣の定着や運動・食育の推進により健やかな心と体を育成します。

<主要施策>

(1) 学力及び体力の向上

- ア 学校の教育力向上推進事業
- イ 学校情報教育推進事業（ICT教育の推進）
- ウ 体力づくり推進事業

(2) 豊かな人間性の育成と人権・同和教育の推進

- ア 道德教育の推進
- イ 人権・同和教育推進事業

(3) 栄養バランスのとれた安全・安心な学校給食の提供

- ア 学校給食の充実及び地産地消推進事業
- イ 食育推進事業
- ウ 衛生管理の徹底と適切な施設の点検整備
- エ モニタリング及び運営委員会による定期的な点検・評価事業

<基本方針>

2 郷土を愛する心と世界に通用する人材の育成

地域の人々との出会いや地域の歴史・自然の学びを通して郷土を愛する心を育成します。また、キャリア教育の充実により、確かな夢を持って社会を生き抜く力を養うとともに、全ての領域での学習を通じて、SDGsの趣旨を理解し実践できる国際感覚豊かな人材を育成します。

＜主要施策＞

(1) 郷土を愛する心の育成

- ア 郷土を愛する心の育成推進事業
- イ キャリア教育推進事業

(2) 国際感覚豊かな人材の育成

- ア ALT活用指導充実事業
- イ 英語コミュニケーション能力育成事業
- ウ 大洲市中学生海外派遣事業

＜基本方針＞

3 個性を生かし可能性を伸ばす教育の推進

多様な個性のある子供たちがお互いを認め合い、個々の長所や可能性を伸ばす教育に取り組むとともに、一人一人の発達段階に応じた適切な指導や必要な支援の充実を通じて、誰一人取り残さない教育の推進を図ります。

＜主要施策＞

(1) SDGs の理念を取り入れた学習の推進

主体的・対話的で深い学びの推進

(2) 特別支援教育の充実

こども家庭センターとの連携強化

基本目標 2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興

＜基本方針＞

1 生涯学習の推進

あらゆる世代の人がそれぞれのライフスタイルに合わせて主体的に学ぶことができるよう、多様な学習機会や情報を提供するとともに、幅広い世代の交流や地域活動を通じてリーダーとなる人材の育成や地域課題の解決を図ります。

＜主要施策＞

(1) 社会教育事業の推進

- ア 成人式
- イ 大洲市民大学
- ウ 科学体験フェスティバル in 大洲
- エ 社会教育関係団体活動支援事業
- オ 自治会活動支援事業
- カ 学級講座事業

(2) 図書館・視聴覚センター事業の推進

- ア 図書館資料収集整理事業
- イ 読書活動推進事業
- ウ 視聴覚教育推進事業

<基本方針>

2 文化・芸術の振興

本市の歴史や風土の中から生まれ、育まれた文化や文化財を保存・継承し、その魅力を発信・活用するとともに、文化・芸術に親しむ機会の提供や個性豊かな地域文化の創造に努め、誇れるふるさとづくりを推進します。

<主要施策>

(1) 文化・芸術活動の推進

- ア 親と子のコンサート事業
- イ 文化・芸術団体活動支援事業
- ウ 新・大洲市史編纂事業

(2) 文化財の保存と活用

- ア 文化財保存活用及び顕彰事業
- イ 民俗芸能保存団体活動支援事業

(3) 文化財調査の実施

- ア 指定文化財見直し事業
- イ 市内遺跡確認調査事業
- ウ 市内絵馬調査事業
- エ 郷土の先哲顕彰事業

(4) 博物館事業の推進

- ア 資料収集整理事業
- イ 展示活動事業
- ウ 教育活動事業
- エ 博物館等施設再編の検討

<基本方針>

3 スポーツの振興と健康・体力づくりの推進

スポーツイベントや施設の充実により、生涯にわたり日常的にスポーツに親しむ機会を提供し、健康寿命の延伸に取り組むことにより市民の心身の健康維持と体力の向上を図ります。

<主要施策>

(1) スポーツ振興の総合的かつ計画的な推進

- ア 大洲市スポーツ推進計画見直し事業
- イ 健康寿命延伸事業

(2) スポーツイベントの充実と開催

- ア 大洲市カヌーツーリング駅伝大会
- イ 大洲市駅伝大会
- ウ 大洲市健康マラソン大会

(3) 地域スポーツの推進

- ア 各地区スポーツ・レクリエーション活動充実事業
- イ スポーツ推進委員育成事業
- ウ 体育施設活用事業
- エ 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

(4) スポーツ関係団体の育成

- ア スポーツ協会活動事業
- イ スポーツ少年団等活動事業

(5) プロスポーツを活用した地域振興

愛媛FC・FC今治・愛媛マンダリンパイレーツ・愛媛オレンジバイキングス等を通じた地域密着型活動支援事業

(6) スポーツを通じた交流の促進

- ア オンラインスポーツ推進事業
- イ 日本スポーツマスターズ2025事業

基本目標3 豊かな学びを支える教育環境づくり

<基本方針>

1 社会総がかりで取り組む教育環境づくり

家庭教育に関する学習機会の提供や相談体制の充実、さらには読書活動の推進により、家庭における教育力の向上を図るとともに、地域に根ざした特色ある学校づくりを推進するため、学校・家庭・地域が連携・協力し合える環境づくりに取り組みます。

<主要施策>

(1) 青少年健全育成事業の推進

- ア 学校・家庭・地域連携推進事業
- イ 市PTA連合会による家庭教育・青少年健全育成事業への支援
- ウ 「家族の出番です」通信講座事業
- エ 青少年センター運営事業

(2) 子供読書活動の推進

第3次大洲市子供読書活動推進計画に基づく施策の実施

<基本方針>

2 子供と向き合う教育環境づくり

複雑化・多様化する教育課題に対して、関係機関と連携した取組を推進し、研修の充実により教職員の資質・能力の向上に努めるとともに、教職員が子供一人一人と向き合える教育環境を整えます。

<主要施策>

(1) 相談体制の充実

ア スクールソーシャルワーカー活用事業

イ ハートなんでも相談員設置事業

ウ スクールカウンセラー活用事業

エ 教職員メンタルヘルス・個別相談事業

(2) 不登校への対応

おおずふれあいスクール運営事業

(3) 安全・安心な学校づくりの充実

防災・安全教育推進事業

(4) これからの学校経営の在り方の検討

ア 学校運営協議会の推進

イ 学校における働き方改革の推進

(5) 被災児童生徒への支援

心のケア事業

(6) 教職員等の資質・能力の向上

大洲市教育研究所運営事業

(7) 生徒指導の充実

いじめ・不登校等対策協議会推進事業

<基本方針>

3 安全・安心な教育環境の構築

教育施設の長寿命化対策をはじめ教育環境の整備を計画的に推進し、市民が安全で安心して、快適に学べる教育環境を構築します。

<主要施策>

(1) 学校施設・設備の充実

- ア 学校施設長寿命化改修事業
- イ 閉校施設除却事業
- ウ 児童生徒用木製机椅子整備事業

(2) **社会教育施設・設備の充実**
社会教育施設維持修繕等事業

- (3) **社会体育施設・設備の充実**
- ア 社会体育施設の充実と活用
 - イ カヌー拠点施設整備事業
 - ウ 大洲市総合体育館ＬＥＤ照明整備事業

教育委員会活動報告

1 教育委員会組織

◆ 委員の就任状況（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

氏 名	区 分	委員任期	摘 要
櫛部 昭彦	教育長	R5. 3. 1～R8. 2. 28	R5. 3. 1 新任
山内 光郎	委員	R6. 3. 1～R10. 2. 29	R6. 3. 1 再任 R4. 3. 1 教育長職務代理者就任
渡邊ひとみ	委員	R3. 3. 1～R7. 2. 28	R3. 3. 1 再任 R7. 2. 28 退任
吉岡 恵一	委員	R5. 4. 1～R9. 3. 31	R5. 4. 1 再任
久米山雅美	委員	R4. 3. 1～R8. 2. 28	R4. 3. 1 新任
渡邊 美雪	委員	R7. 3. 1～R11. 2. 28	R7. 3. 1 新任

2 教育委員会の会議等の開催状況

◆ 会 議

毎月1回定例会を開催し、必要に応じて臨時会を開催した。

① 令和6年度の会議開催状況

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
定例会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
臨時会												1	1
計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	13

② 令和6年度の議案等の付議状況

<定例会>

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
議 案	1	5	2		7			1	1	3	8	13	41
報告事項					1	1					1		3
その他	7		1	1		1				4	3	4	21
計	8	5	3	1	8	2		1	1	7	12	17	65

<臨時会>

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
議 案												2	2
報告事項													
その他													
計												2	2

3 その他の活動

◆ 委員研修会等への参加

① 南予管内市町等教育委員会連合会総会

期 日 令和6年6月13日(木)

場 所 愛南町庁舎 3階大会議室

※議会と重なり不参加

② 南予教育を考える集い

期 日 令和6年11月14日(木)

場 所 県歴史文化博物館

参加者 教育長 櫛部 昭彦 委 員 渡 邊 ひとみ

委 員 久米山 雅 美

③ 南予管内市町等教育委員会連合会教育委員会研修会

期 日 令和7年2月27日(木)

場 所 内子自治センター 多目的ホール

参加者 教育長職務代理者 山内 光 郎 委 員 渡 邊 ひとみ

委 員 吉岡 恵 一 委 員 久米山 雅 美

◆ 委員研修会の開催

○ 市内教育施設視察研修

期 日 令和6年9月30日(月)

場 所 大洲南中学校仮設校舎ほか1施設

参加者 教育長 櫛部 昭彦 教育長職務代理者 山内 光 郎

委 員 渡 邊 ひとみ 委 員 吉岡 恵 一

委 員 久米山 雅 美

空

白

主要施策〔事業調書〕

点検・評価結果

自己評価基準

- ◎ 順調
- 概ね順調
- △ やや順調でない
- × 順調でない
- ― 未実施

基本目標	基本方針	主要施策
1 未来を拓く子どもの育成	1 確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成	1 学力及び体力の向上 2 豊かな人間性の育成と人権・同和教育の推進 3 栄養バランスのとれた安全・安心な学校給食の提供
	2 郷土を愛する心と世界に通用する人材の育成	1 郷土を愛する心の育成 2 国際感覚豊かな人材の育成
	3 個性を生かし可能性を伸ばす教育の推進	1 S D G S sの理念を取り入れた学習の推進 2 特別支援教育の充実
2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興	1 生涯学習の推進	1 社会教育事業の推進 2 図書館・視聴覚センター事業の推進
	2 文化・芸術の振興	1 文化・芸術活動の推進 2 文化財の保存と活用 3 文化財調査の実施 4 博物館事業の推進
		1 スポーツ振興の総合的かつ計画的な推進 2 スポーツイベントの充実と開催
		3 地域スポーツの推進 4 スポーツ関係団体の育成 5 プロスポーツを活用した地域振興 6 スポーツを通じた交流の促進
		1 青少年健全育成事業の推進 2 子供読書活動の推進
	3 スポーツの振興と健康・体力づくりの推進	1 相談体制の充実 2 不登校への対応 3 安全・安心な学校づくりの充実 4 これからの学校経営の在り方の検討 5 被災児童生徒への支援 6 教職員等の資質・能力の向上 7 生徒指導の充実
		1 学校施設・設備の充実 2 社会教育施設・設備の充実 3 社会体育施設・設備の充実
	1 社会総がかりで取り組む教育環境づくり	
	2 子供と向き合う教育環境づくり	
3 豊かな学びを支える教育環境づくり	3 安全・安心な教育環境の構築	

令和6年度点検評価施策・事業一覧

施策	No.	事業名	自己評価	
			課長	担当
1-1-1	1	学校の教育力向上推進事業	○	○
	2	学校情報教育推進事業（ＩＣＴ教育の推進）	○	○
	3	体力づくり推進事業	○	○
1-1-2	4	道徳教育の推進	○	○
	5	人権・同和教育推進事業	○	○
1-1-3	6	学校給食の充実及び地産地消推進事業	○	○
	7	食育推進事業	○	○
	8	衛生管理の徹底と適切な施設の点検整備	○	○
	9	モニタリング及び運営委員会による定期的な点検・評価事業	○	○
1-2-1	10	郷土を愛する心の育成推進事業	○	○
	11	キャリア教育推進事業	○	○
1-2-2	12	A L T活用指導充実事業	○	○
	13	英語コミュニケーション能力育成事業	○	○
	14	大洲市中学生海外派遣事業	○	○
1-3-1	15	主体的、対話的で深い学びの推進	○	○
1-3-2	16	こども発達支援室と他部署との連携強化	○	○
2-1-1	17	成人式	◎	○
	18	大洲市民大学	○	○
	19	科学体験フェスティバルin大洲	○	○
	20	社会教育関係団体活動支援事業	○	○
	21	自治会活動支援事業	○	○
	22	学級講座支援事業	○	○
2-1-2	23	図書館資料収集整理事業	○	○
	24	読書活動推進事業	○	○
	25	視聴覚教育推進事業	○	○
2-2-1	26	親と子のコンサート事業	◎	○
	27	文化・芸術団体活動支援事業	○	○
	28	新・大洲市史編纂事業	○	○

施策	No.	事業名	自己評価	
			課長	担当
2-2-2	29	文化財保存活用及び顕彰事業	○	○
	30	民俗芸能保存団体活動支援事業	○	○
2-2-3	31	指定文化財見直し事業	○	○
	32	市内遺跡確認調査事業	◎	◎
	33	市内絵馬調査事業	◎	○
	34	郷土の先哲顕彰事業	◎	○
2-2-4	35	資料収集整理事業	○	○
	36	展示活動事業	○	○
	37	教育活動事業	○	○
	38	博物館等施設再編の検討	△	△
2-3-1	39	大洲市スポーツ推進計画見直し事業	○	○
	40	健康寿命延伸事業の推進	○	○
2-3-2	41	大洲市カヌーツーリング駅伝大会	○	○
	42	大洲市駅伝大会	○	○
	43	大洲市健康マラソン大会	○	○
2-3-3	44	各地区スポーツ・レクリエーション活動充実事業	○	○
	45	スポーツ推進委員育成事業	○	○
	46	体育施設活用事業	○	○
	47	地域スポーツクラブ活動体制整備事業	○	○
2-3-4	48	スポーツ協会活動事業	○	○
	49	スポーツ少年団等活動事業	○	○
2-3-5	50	愛媛FC・FC今治・愛媛マンダリンパイレーツ・愛媛オレンジバイキングス等を通じた地域密着型活動支援事業	○	○
2-3-6	51	オンラインスポーツ推進事業	○	○
	52	日本スポーツマスターズ2025事業	○	○
3-1-1	53	学校・家庭・地域連携推進事業	○	○
	54	市PTA連合会による家庭教育・青少年健全育成事業への支援	○	○

施策	No.	事業名	自己評価	
			課長	担当
3-1-1	55	「家族の出番です」通信講座事業	○	○
	56	青少年センター運営事業	○	○
3-1-2	57	第3次大洲市子供読書活動推進計画に基づく施策の実施	○	○
3-2-1	58	スクールソーシャルワーカー活用事業	○	○
	59	ハートなんでも相談員設置事業	○	○
	60	スクールカウンセラー活用事業	○	○
	61	教職員メンタルヘルス・個別相談事業	○	○
3-2-2	62	おおずふれあいスクール運営事業	○	○
3-2-3	63	防災・安全教育推進事業	○	○
3-2-4	64	学校運営協議会の推進	◎	◎
	65	学校における働き方改革の推進	○	○
3-2-5	66	心のケア事業	○	○
3-2-6	67	大洲市教育研究所運営事業	○	○
3-2-7	68	いじめ・不登校等対策協議会推進事業	○	○
3-3-1	69	学校施設長寿命化改修事業	○	○
	70	閉校施設除却事業	○	○
	71	児童生徒用木製机椅子整備事業	○	○
3-3-2	72	社会教育施設維持修繕等事業	○	○
3-3-3	73	社会体育施設の充実と活用	○	○
	74	カヌー拠点施設整備事業	○	○
	75	大洲市総合体育館LED照明整備事業	○	○

順調 ◎	6	2
概ね順調 ○	68	72
やや順調でない △	1	1
順調でない ×	0	0
未実施 —	0	0
計	75	75

基本方針 1 確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R6
基 本 目 標	1 未来を拓く子どもの育成				
基 本 方 針	1 確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成				
主 要 施 策	1 学力及び体力の向上				
事 業 名	1 学校の教育力向上推進事業				
目 的	全国学力・学習状況調査等の調査及び全国体力・運動能力・運動習慣等調査結果をもとに、各小中学校の実態を把握し、各小中学校の実態に応じた学力及び体力の向上を図る。				
事業実施状況	<p>全国学力・学習状況調査及び全国体力・運動能力・運動習慣等調査をもとに、全国や県との比較をしたり、各小中学校の実態の把握に努めたりした。</p> <p>学力に関しては、購入した教材等による学習内容の定着を図るよう各校の学力向上推進主任と共通理解を図るとともに情報交換に努めた。また、小中学校各1校において南予教育事務所要請訪問を兼ねた学力向上専門委員会研究授業を開催。授業を参観し、学力向上のために校内で取り組んでいることを共有するとともに、全国学力・学習状況調査や県の学力診断調査等の結果分析や経年比較を基に、学力向上のためのアドバイスをを行った。また、これらの各小中学校の情報を共有するとともに、それぞれの改善点について協議を行った。</p> <p>また、小学校にWEB学習教材スマイルネクストドリルを活用し、教育課程に沿った個別の学習支援に向けた利用を進めた。また、中学校への導入も予定し、ドリルの試用を行った。</p>				
事業年度	R3	R4	R5	R6	
事業費	予 算 額	4,969	4,908	3,282	3,081
	決 算 額	4,827	4,817	3,236	3,081
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	97.1%	98.1%	98.6%	100.0%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	4,827	4,817	3,236	3,081
事業の成果	<p>国や県の各種調査の分析をもとに、学力の向上のための共通理解や情報交換を行うことができた。また、市独自に導入したWEB学習支援アプリ等や県CBTシステム「EILS」の活用も定着しつつあり、学校・児童の実態に応じた教材等の活用、授業研究など、学力向上に向けて積極的に取り組むことができた。</p>				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	令和7年度に向けて、中学校への個別指導用のWEB学習教材の導入を検討している。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R6
基 本 目 標	1 未来を拓く子どもの育成				
基 本 方 針	1 確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成				
主 要 施 策	1 学力及び体力の向上				
事 業 名	2 学校情報教育推進事業（ＩＣＴ教育の推進）				
目 的	<p>一人一人の子供たちの能力や特性に応じた「個別学習」や、子供たちが教え合い学び合う「協働学習」の実現を目指し、ＩＣＴを効果的に活用した授業のあり方を検討するなど、「新しい学び」を推進して学力の向上に取り組む。</p> <p>GIGAスクール構想の推進のため、ＩＣＴ環境の効果的な活用等について研究を行う。</p>				
事業実施状況	<p>大洲市学校情報教育推進協議会の活動を中心に、学校の情報教育の推進に関する基本的な事項とＩＣＴ環境の整備及び利活用促進に関する検討を行った。</p> <p>1 大洲市学校情報教育推進協議会の開催</p> <p>(1) 第25回協議会（5/20）R6活動計画</p> <p>(2) 臨時協議会（8/29）次期更新の学習用端末について</p> <p>(3) 第26回協議会（12/16）前期の活動報告・後期の活動予定</p> <p>(4) 第27回協議会（3/12）今年度の活動報告・R7の計画</p> <p>2 各部会の開催</p> <p>(1) セキュリティ部会（12/3・1/14・2/6・3/3）</p> <p>(2) 校務支援部会（1/28・3/7）</p> <p>(3) ミライム部会（1/30・3/6）</p> <p>3 各種研修会の開催</p> <p>(1) リーダー研修会（5/14）タブレット・校務PCに関する研修会</p> <p>(2) 教育センター出前講座（6/13）EILSの活用について</p> <p>(3) 活用実技研修（随時）モバイル、e-スタ、スマイルネクストリル</p> <p>(4) スズキ校務研修（8/20～30）</p> <p>(5) 職域別研修 （養護教諭10/9・教務主任11/1・進路指導主任11/26）</p> <p>(6) ミライムレター操作研修会（10/24・12/9）</p>				

2 学校情報教育推進事業（ＩＣＴ教育の推進）

事業年度		R3	R4	R5	R6
事業費	予算額	0	0	0	0
	決算額	0	0	0	0
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
事業区分		ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0
事業の成果		<p>各種研修等を通じて、アプリケーション等の活用力の向上を図ることができた。また、校務用パソコン及び校務支援システムの更新に伴い、大洲市立小中学校教育情報セキュリティポリシーを改定・周知し、情報セキュリティ対策を一層強化した。</p>			
自己評価		所 属 長	○	担 当 者	○
課題・問題点		<p>大洲市学校教育情報化推進計画が策定から5年を経過したことから、GIGAスクール構想第2期の開始と学習用タブレット端末の更新にあわせて、計画を見直す必要がある。</p>			

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R6
基 本 目 標	1 未来を拓く子どもの育成				
基 本 方 針	1 確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成				
主 要 施 策	1 学力及び体力の向上				
事 業 名	3 体力づくり推進事業				
目 的	各小中学校の実態等に応じた取組を推進する。県教委が設けている I T スタジアムを積極的に活用し、基礎体力と運動能力の向上を図る。				
事 業 実 施 状 況	<p>県教委が設けている I T スタジアムを積極的に活用するように、各学校に呼び掛けた。</p> <p>1 チャレンジ部門 4 種目 スローアンドキャッチラリー、チームジャンプ連続 8 の字ジャンプ、チームリレー</p> <p>2 ポイント獲得部門 エブリイデイスポーツ みんなで逆上がり、みんなで縄跳び、みんなでジャンプ みんなでキック、みんなでランニング、みんなでダンス みんなでリズム水泳、みんなでアスレチック えがおダンス、えがお体操</p> <p>3 創作部門 2 種目 レッツリズムダンス、体力アップエクササイズ</p>				
事 業 年 度	R3	R4	R5	R6	
事業費	予 算 額	0	0	0	0
	決 算 額	0	0	0	0
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
事 業 区 分	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0
事 業 の 成 果	<p>I T スタジアムに市内全小中学校が参加している。</p> <p>チャレンジ部門において、上位に入賞したり、10位以内に入賞する学校が多くあったりするなど、各校のがんばりが見られた。研修会を通して、体育授業の改善や運動・スポーツ活動の効果的指導方法を身に付けることができた。</p>				
自 己 評 価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課 題 ・ 問 題 点	さらに、運動の習慣化や運動することへの意欲を高め、日常的な体力向上に取り組む具体的な工夫が必要である。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R6
基 本 目 標	1 未来を拓く子どもの育成				
基 本 方 針	1 確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成				
主 要 施 策	2 豊かな人間性の育成と人権・同和教育の推進				
事 業 名	4 道徳教育の推進				
目 的	教科化された道徳科について、新学習指導要領に基づいた指導計画の作成を行うとともに、授業改善や評価方法の研修を進める。				
事 業 実 施 状 況	<p>各校において、新学習指導要領に基づいて作成した指導計画を見直したり、授業改善、評価方法の研修を行ったりするよう呼び掛けた。</p> <p>愛媛県総合教育センター「愛媛学びの森学習支援サイト」に掲載された「愛媛県特色ある道徳教育推進事業研究推進校の研究概要」を、道徳教育の推進に向け、活用するように呼び掛けた。</p> <p>また、各校において道徳教育に関する研修を行うとともに、各校の道徳教育推進教師や教務主任が中心となって、評価方法について情報交換を行った。</p> <p>令和6年度は、長浜中学校にて「愛媛県特色ある道徳教育推進事業」の研究会が開催され、市内はもとより、県内各地から多くの教員が訪れ研修を行うことができた。</p>				
事 業 年 度	R3	R4	R5	R6	
事業費	予 算 額	0	0	0	0
	決 算 額	0	0	0	0
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
事 業 区 分	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0
事 業 の 成 果	大洲市教育研究所道徳班会(兼：心の教育専門委員会)等において研修・情報交換を行ったり、各校において道徳教育の研修を行ったりして、道徳教育を推進することができた。				
自 己 評 価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課 題 ・ 問 題 点	「特別の教科 道徳」として充実させるため、年間指導計画や指導・評価方法等を自校の実情に沿ったものとなるよう、検証をしていく必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R6
基 本 目 標	1 未来を拓く子どもの育成				
基 本 方 針	1 確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成				
主 要 施 策	2 豊かな人間性の育成と人権・同和教育の推進				
事 業 名	5 人権・同和教育推進事業				
目 的	各小中学校における人権・同和教育の指導計画を見直し、学校の状況に応じた適切な指導を進める。また、教職員の研修が深まるよう支援を行う。				
事業実施状況	<p>人権・同和教育の全体計画と年間指導計画について、各校での見直しや点検、教育委員会事務局での確認を行い、事業の充実を図った。</p> <p>ポイントは次の2点である。全体計画は、学校における人権・同和教育の基本的な方針を示すとともに、学校の教育活動全体を通して、人権・同和教育の目標を達成するための方策を総合的に示したものであること。年間指導計画は、全体計画に基づき、児童生徒の発達段階に即して各年度に行う人権・同和教育の指導内容・方法等を具体化した全学年にわたる指導計画であること。</p> <p>令和6年度は、愛媛県人権・同和教育研究大会(松山市会場)には21人が参加して、校内研修に役立てた。また、南予地区人権・同和教育研究協議会(宇和島市会場)においては、21人が参加した。今年度は、喜多小学校・大洲南中学校の取組について実践報告をし、各分科会で熱心な協議を行うことができた。また、人権・同和教育主任班会において各校の取組等について研修を行った。</p> <p>また、いじめ等の防止や性的マイノリティ等について、県教委からの通知資料を基に各校に情報を提供し、積極的に自校の課題に取り組むよう働き掛けた。</p>				
事業年度	R3	R4	R5	R6	
事業費	予 算 額	0	0	0	0
	決 算 額	0	0	0	0
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
事業区分	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0
事業の成果	<p>各学校の人権・同和教育主任が、開催された研究会に参加して、校内の人権・同和教育の全体計画と年間指導計画に活用することができた。</p> <p>いじめ等の防止や、性的マイノリティ等の差別の防止に向けて取り組むことができた。</p>				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	<p>人権・同和教育の全体計画と年間指導計画は、年度末の課題をもとに、見直し改善する必要がある。小中学校の校則検討委員会でも性的マイノリティ等への多様な対応が協議されているため、差別等への対策に向けて更に取り組む必要がある。</p>				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	学校給食センター	係 名	庶務係	年度	R6
基 本 目 標	1 未来を拓く子どもの育成				
基 本 方 針	1 確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成				
主 要 施 策	3 栄養バランスのとれた安全・安心な学校給食の提供				
事 業 名	6 学校給食の充実及び地産地消推進事業				
目 的	栄養バランスが取れ、食物アレルギーを有する児童生徒にも対応した安全安心な学校給食を提供するとともに、大洲産の生鮮野菜、果物類の使用率のさらなる向上と調達の安定化を図る。				
事業実施状況	<p>献立や食材に児童生徒の意見を取り入れながら、栄養バランスが取れ、食物アレルギーを有する児童生徒にも対応した安全安心な学校給食の提供に努めた。</p> <p>また、大洲産の生鮮野菜・果物類使用率の更なる向上と調達の安全を図るため、「愛たい菜」や地元納入業者との連携を密にして、供給ルートの確保、端境期対策に努めた。</p> <p>1 給食実施状況</p> <p>(1) 対象校 25校</p> <p>(2) 給食実施日数 196日</p> <p>(3) 実施食数 589,533食</p> <p>2 リクエスト献立 20校【小12校・中8校】</p> <p>3 アレルギー対応</p> <p>(1) アレルギーのある児童生徒等の把握 220人</p> <p>(2) アレルギー献立表の送付 57人</p> <p>(3) アレルギー対応食の提供 41人</p> <p>4 大洲産使用率（重量ベース）</p> <p>(1) 生鮮野菜 64.5%</p> <p>(2) お米（大洲産にこまる）100%</p> <p>5 「愛たい菜」との連携</p> <p>愛たい菜に毎月献立表を送付して地元野菜の使用可能量を把握し、発注時に調整を行った。</p> <p>6 旬の地元産食材活用のための献立検討</p> <p>地産多消推進協議会の助成金を活用した献立の実施</p>				
事業年度	R3	R4	R5	R6	
事業費	予算額	0	0	0	0
	決算額	0	0	0	0
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
事業区分	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0
事業の成果	<p>リクエスト献立や大洲の食材を使ったメニューなど、趣向を凝らした完全給食事業が実施できた。</p> <p>生鮮野菜のほか、地元産の冷凍野菜や季節に応じた果物を使用し、地産地消率は64.5%となった。</p>				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	天候の影響による量の確保や規格のばらつき、端境期の調達といった課題があるため、愛たい菜等との連携を密にし対策を図る必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	学校給食センター	係 名	庶務係	年度	R6
基 本 目 標	1 未来を拓く子どもの育成				
基 本 方 針	1 確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成				
主 要 施 策	3 栄養バランスのとれた安全・安心な学校給食の提供				
事 業 名	7 食育推進事業				
目 的	食育指導や施設の見学をとおして、子どもたちが生きる力となる食に関する正しい知識を身につけ、保護者や市民に食育の大切さについて啓発を図る。				
事業実施状況	<p>子どもたちが、生きる力となる食に関する正しい知識を身に付けるため、学校で食育指導を行い、保護者や市民を対象とした食育講演、食育ポスターコンクールの開催により、食に関する意識の啓発を図った。</p> <p>1 給食センター施設見学対応 (1) 施設数・・・10校 (2) 見学者数・・・242人</p> <p>2 講演、指導 (1) 開催回数・・・21回 (2) 対象者数・・・167人 (3) 内 容 小児生活習慣病予防教室、就学時健康診断での指導、栄養教室、栄養相談（14回）</p> <p>3 食育コンクール (1) 参加数・・・ポスター345件、標語1,490件 (2) 応募数・・・ポスター317件、標語 397件</p>				
事業年度	R3	R4	R5	R6	
事業費	予算額	382	599	647	667
	決算額	356	522	581	572
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	93.2%	87.1%	89.8%	85.8%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	356	522	581	572
事業の成果	<p>学校給食センターの視察、食に関する講演を実施することで、児童生徒や保護者に食の大切さを伝え、調理従事者への感謝の心を育むことが出来た。</p> <p>また、食育コンクールでは、食に関するポスターや標語を募集し、市役所ロビー・愛たい菜での作品展示や広報紙・公式ホームページに掲載を行うことで、子どもだけでなく広く一般に地産地消や食の大切さについて啓発をすることができた。</p>				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	引き続き、食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであるということについての理解を深め、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うことに寄与していきたい。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	学校給食センター	係 名	庶務係	年度	R6
基 本 目 標	1 未来を拓く子どもの育成				
基 本 方 針	1 確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成				
主 要 施 策	3 栄養バランスのとれた安全・安心な学校給食の提供				
事 業 名	8 衛生管理の徹底と適切な施設の点検整備				
目 的	調理従事者等の衛生管理に関する資質向上と意識啓発を図り、細菌検査、ノロウイルス検査による衛生管理の徹底を図る。 薬剤師の協力を得て施設を点検し、食中毒の発生防止を図る。				
事業実施状況	<p>1 調理従事者等の衛生研修と細菌検査等の実施 調理従事者等の衛生管理研修を毎月行い、個々の資質向上と意識の啓発を図り、感染症の流行期には通常の細菌検査に加えてノロウイルス検査を行い、衛生管理の徹底を図った。 (1) ノロウイルス検査・・・10月～3月（6回） (2) 腸内細菌検査・・・・・・毎月2回 (3) 調理従事者衛生研修・・・毎月1回</p> <p>2 施設の点検整備 学校給食衛生管理基準に基づき、学校薬剤師の協力を得て、施設の点検整備と徹底的な衛生管理に努めた。 (1) 第1学期 6月3日 (2) 第2学期 11月15日 (3) 第3学期 2月3日</p>				
事業年度	R3	R4	R5	R6	
事業費	予算額	181	182	190	279
	決算額	137	143	157	198
	繰越額		0	0	0
	執行率	75.7%	78.6%	82.6%	71.0%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	137	143	157	198
事業の成果	<p>調理従事者等を対象とした衛生研修会を開催し、衛生管理の意識向上を図るとともに、感染症の流行期には通常の細菌検査に加えてノロウイルス検査を行い、衛生管理の徹底を図った。 学校給食衛生管理基準に基づき、学校薬剤師の協力を得て、学期ごとに施設の点検を行い、衛生管理の充実を図った。</p>				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	食中毒の発生には細心の注意を払う必要があることから、PFI事業者と連携し、衛生管理の徹底を図り、安全・安心な給食の提供に取り組む必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	学校給食センター	係 名	庶務係	年度	R6
基 本 目 標	1 未来を拓く子どもの育成				
基 本 方 針	1 確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成				
主 要 施 策	3 栄養バランスのとれた安全・安心な学校給食の提供				
事 業 名	9 モニタリング及び運営委員会による定期的な点検・評価事業				
目 的	P F I 事業者が行う維持管理・運営業務に対し、定期的にモニタリングを実施し、業務の履行確認を行うとともに、運営委員会を開催し、事業者との情報交換などさらなる連携を図る。				
事業実施状況	<p>事業者が行う維持管理・運営業務に対して日々の状況を確認しながら、関係者からのヒアリング、定期的なモニタリングを実施し、適切な業務執行の監視を行うとともに、運営委員会を開催し、事業者との綿密な情報交換などさらなる連携を図った。</p> <p>1 事業者から月次及び4半期ごとの業務報告書の提出 2 事業者のセルフモニタリング（年4回実施） 3 モニタリング及び運営委員会の実施</p> <p>(1) 第1四半期（R6.7.12） ①要求水準の確認（全員一致） ②運営委員会（特になし）</p> <p>(2) 第2四半期（R6.10.11） ①要求水準の確認（全員一致） ②運営委員会（米缶の返し方について）</p> <p>(3) 第3四半期（R7.1.15） ①要求水準の確認（全員一致） ②運営委員会（特になし）</p> <p>(4) 第4四半期（R7.4.15） ①要求水準の確認（全員一致） ②運営委員会（コンテナ、備品カゴ、箸カゴ、おかず食缶、米缶の返し方について）</p>				
事業年度	R3	R4	R5	R6	
事業費	予算額	0	0	0	0
	決算額	0	0	0	0
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
事業区分	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0
事業の成果	年4回のモニタリングにより、施設・設備の維持管理と運営業務の適切な履行確認ができています。また、規定された時間内に配送できるよう、学校施設の改修予定や通行止めなどの情報を提供し、適切な対応ができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	モニタリング・運営委員会による定期的な点検・評価事業を参考にしながら、令和8年度からの次期事業についても、専門業者による支援を受けながら、次期事業者への円滑な引継ぎを行う。				

基本方針1 確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成

【外部評価委員意見】

- 体力づくり推進事業のＩＴスタジアムの活用について、近年のＩＴの推進により、子供たちも興味を持ちやすいのではないか。このような事業を継続し、運動・スポーツに関心を持つことで、将来の仕事や夢にもつなげていけるようになるのではないかと思う。
- 人権・同和教育推進事業の性的マイノリティについて、子供だけではなく、保護者も参加できるような研修も必要ではないかと思う。
- 人権・同和教育研修について、昔と比べ部落差別・同和教育の研修内容が少し薄まってきているように感じる。各校への指導について、今後深まりのある教育を進めていただきたい。
- 人間誰しも個人差があるように、タブレットの習得も多少なり格差が生じるものである。最近の子供たちは使い慣れているが、不得意な子供もいると思う。大きな格差がないよう全体的に習得の能力を引き上げていただくようお願いしている。
- 学校給食について、物価高騰の折に値上げすることなく頑張っていたいており感謝している。またアレルギーや衛生管理面での対策もしっかり行っていたいので、保護者の方も安心して子供さんを送り出されていることと思う。今後も引き続き対策をお願いしたい。

基本方針 2 郷土を愛する心と世界に通用する人材の育成

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R6
基 本 目 標	1 未来を拓く子どもの育成				
基 本 方 針	2 郷土を愛する心と世界に通用する人材の育成				
主 要 施 策	1 郷土を愛する心の育成				
事 業 名	10 郷土を愛する心の育成推進事業				
目 的	地域の人々との出会いや地域の歴史・自然の学びを通して郷土愛を育むとともに、中学生版歴史副読本等を活用して郷土の先哲の足跡を学び郷土の文化や自然を継承していく心を培う。				
事業実施状況	<p>1 中学生版歴史副読本の活用 令和2年度に改訂版を発行した「中学生版歴史副読本」を中学1年生全員に配布し、郷土の自然・歴史・風土・人物又は地域の伝統行事や風習に関する知識を深めた。 (次回：令和7年度改訂)</p> <p>2 大洲のくらしの活用 小学校3・4年社会科副教材「大洲のくらし」を活用して、郷土の歴史や文化や自然を愛し、継承していく心を育んだ。 昭和39年に初版発行して以来、約5年ごとに見直しを行い、時代に則した内容に改訂している。 (次回：令和8年度改訂)</p>				
事業年度	R3	R4	R5	R6	
事業費	予 算 額	1,485	0	0	0
	決 算 額	792	0	0	0
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	53.3%	0.0%	0.0%	0.0%
事業区分	市単独事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	792	0	0	0
事業の成果	中学生版歴史副読本及び大洲のくらしを社会科教材として使用するほか、総合的な学習の時間等を活用し、地域の方を講師として講話を聞いたり、体験活動を行ったりすることにより、郷土の自然・歴史・風土・人物、及び伝統行事や風習に関する知識を深めることができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	改訂時には、QRコードによる動画再生など、タブレット学習を見据えた工夫をするなど、児童生徒の知的好奇心を刺激する時代に沿った内容にしたい。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R6
基 本 目 標	1 未来を拓く子どもの育成				
基 本 方 針	2 郷土を愛する心と世界に通用する人材の育成				
主 要 施 策	1 郷土を愛する心の育成				
事 業 名	11 キャリア教育推進事業				
目 的	生徒が「生きる力」を身に付け、主体的に自己の進路を選択できるなど、社会人、職業人として自立していくことができるように5日間の職場体験等を実施する。				
事業実施状況	<p>生徒が「生きる力」を身に付け、将来直面するであろう様々な課題に対して、柔軟にたくましく対応し、主体的に自己の進路を選択できるなど、健全な勤労観や職業観、社会人・職業人として自立できる資質や能力の育成を目指すキャリア教育が強く求められており、職場体験学習を実施している。</p> <p>令和6年度は、予定通り全中学校が職場体験学習に取り組み、充実した活動を行うことができた。</p> <p>(1) 実施校 市内中学校8校 (2) 対 象 中学2年生</p> <p>また、各学校において地域の実情や学校及び学級における創意工夫を生かした形で活用する「キャリア・パスポート」の積極的な活用を呼び掛けた。</p>				
事業年度	R3	R4	R5	R6	
事業費	予 算 額	236	90	75	65
	決 算 額	15	35	28	10
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	6.4%	38.9%	37.3%	15.4%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	15	35	28	10
事業の成果	各中学校が主体となり、生徒が希望する事業所等において職場体験学習を行った。生徒自身が活動に向けて、事前・事後の学習を自主的に行うことができ、地域に根差した地元事業所の良さを体得することができた。また、多くの事業所の協力により、働くことの意義や今後の望ましい職業観や勤労観を身に付けることができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	事業所には多大な協力をいただいているが、5日間連続での受け入れが難しい場合は、臨時で受け入れていただく事業所に一時的に御協力いただいている。令和7年度も、5日間同一事業所で活動することは難しい。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R6
基 本 目 標	1 未来を拓く子どもの育成				
基 本 方 針	2 郷土を愛する心と世界に通用する人材の育成				
主 要 施 策	2 国際感覚豊かな人材の育成				
事 業 名	12 A L T活用指導充実事業				
目 的	<p>中学校及び小学校5、6年生における外国語指導、小学校3、4年生における外国語活動の補助を行い、児童生徒の英語に対する興味、関心及び学習意欲を高め、外国語教育の充実と新学習指導要領への円滑な移行を図る。</p>				
事業実施状況	<p>外国語教育の充実及び国際交流の発展を図るために、外国語指導助手（A L T）を10人配置し、それぞれの担当小中学校で外国語教育に従事することとしている。</p> <p>令和6年度において、在籍する6人のうち2人が任期を終えたが、さらなる英語教育推進を図るため、新たに6人の配置を要望していたところ、要望通り6人を確保することができ、令和6年8月からは10人配置とすることができた。</p> <p>就学前の早い時期に英語とふれあう機会を設けるため、外国人指導助手の幼稚園、こども園、保育所等への派遣も行った。</p>				
事業年度	R3	R4	R5	R6	
事業費	予 算 額	28,966	32,557	30,286	47,110
	決 算 額	16,589	27,931	28,134	42,430
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	57.3%	85.8%	92.9%	90.1%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	16,589	27,931	28,134	42,430
事業の成果	<p>小学校高学年における外国語教育の教科化及び中学年の外国語活動の開始に伴う教員の英語指導の向上を図ることができた。また、コミュニティセンターでの英会話教室を通じて、自国の文化や慣習の説明を行う等、地域住民の異文化理解にも貢献している。就学前の早い時期から英語に触れ合う機会を設定できた。</p>				
自己評価	所 属 長	◎	担 当 者	◎	
課題・問題点	長期休業中におけるA L Tの活用について、検討する必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R6
基 本 目 標	1 未来を拓く子どもの育成				
基 本 方 針	2 郷土を愛する心と世界に通用する人材の育成				
主 要 施 策	2 国際感覚豊かな人材の育成				
事 業 名	13 英語コミュニケーション能力育成事業				
目 的	A L T、英語教員との合宿生活や中学生国内留学等を通して、英語によるコミュニケーション能力の向上を図るとともに、英語に対する関心を高め、幅広く世界で活躍できる国際感覚豊かな人材を育成する。				
事業実施状況	<p>市内の中学校2・3年生を対象に参加者を募集し、令和6年度から宿泊をともなわない、夏季休業中2日間の「英語キャンプ」を計画した。宿泊を取りやめたため、参加者数が減少するのではないかと心配されたが、予想に反して38人の参加があった。指導者は、大洲市A L T10人、大洲市英語教員10人。大洲市教育委員会事務局職員1人も参加した。</p> <p>また、令和6年度は、愛媛大学リテラチャーサークルの皆様に御協力いただき、英語学習のアクティビティも実施していただいた。</p> <p>8月5日…開会式、入所式、アイスブレイカーゲーム、 愛大リテラチャーサークル活動</p> <p>8月6日…グループアクティビティ、オンラインレッスン、 振り返り、閉会式</p>				
事業年度	R3	R4	R5	R6	
事業費	予 算 額	143	3,143	143	180
	決 算 額	51	3,028	93	63
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	35.7%	96.3%	65.0%	35.0%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	2,000	0	0
	一般財源	51	1,028	93	63
事業の成果	今年度もオンラインで海外の方との英語での交流を行った。また愛媛大学による新しいプログラムを準備することができ大変有意義な研修の機会となった。宿泊を行わなかったが、活動時間は十分に確保することができ、十分に活発な英語活動での交流が実施できた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	令和6年度から、宿泊を伴わない活動を実施したことによって、参加者が増加した。英語に興味があれば誰でも参加できる間口が広がった分、英語コミュニケーションの能力にも差異が生じている。全員が活動の楽しさを共有できる活動プログラムの設定が必要である。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R6
基 本 目 標	1 未来を拓く子どもの育成				
基 本 方 針	2 郷土を愛する心と世界に通用する人材の育成				
主 要 施 策	2 国際感覚豊かな人材の育成				
事 業 名	14 大洲市中学生海外派遣事業				
目 的	これからの大洲市を担う中学生を海外に派遣し、異国の文化、歴史、経済、生活習慣及び国民性の違い等を肌で感受させ、その体験を通して国際的な感覚の涵養と視野を広めさせることにより、国際化時代にふさわしい人材を育成する。				
事業実施状況	<p>コロナ禍を経て令和6年度には5年ぶりに海外への派遣を実施し、中学生12人を派遣することができた。</p> <p>1 派遣先 オーストラリア シドニー 2 派遣期間 令和6年7月29日～8月9日（12日間） 3 派遣校 ジョージズ リバー グラマー（小中学校） 4 ホームステイ 2名1家庭での受入れにより8泊</p>				
事業年度			R5	R6	
事業費	予 算 額			3,400	7,160
	決 算 額			2,786	6,235
	繰 越 額			0	0
	執 行 率			81.9%	87.1%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金			0	0
	県補助金			0	0
	地 方 債			0	0
	その他特財			2,400	2,400
	一 般 財 源			386	3,835
事業の成果	派遣実施後にアンケートを行い、現地学校での合同授業や8泊のホームステイを通して、英語力の向上のほか、コミュニケーション能力や積極性、社交性の向上につながったという意見をいただいた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	物価高騰や円安の影響を受け、引き続き費用は高止まりの状態である。財政的な理由により事業を中止する市町もあり、事業の継続及び今後の実施方法については検討も必要となってくると思われる。				

基本方針２ 郷土を愛する心と世界に通用する人材の育成

【外部評価委員意見】

- 職場体験学習について、受け入れる側の事業所としても５日間連続は大変である。連日ではなく、例えば２日間あるいは飛び飛びの日程で設定してもよいのではないか、それでも子供たちには十分なキャリア教育はできるのではないかと。
- 英語コミュニケーションについて、例えば歴史好きの子供さんが、大洲城や街並みを観光する外国人に対し、英語で道案内やガイドをしたりすることが可能であれば、そのような取組もしてみてもどうか。子供たちも伸びると思う。ボランティアの育成にもつながる。
- ALTが、就学前の幼稚園やこども園、保育所へ出向き、ふれあう機会を設けていただいていることは大変有意義な取組である。小さい頃の方が何に対しても吸収力があるので、ぜひ継続してほしい。
- ALTの活用ということが課題・問題点に上がっているようだが、それぞれの地域において、子供から大人まで様々な活動を行っているようで、ぜひ地域の活動へも御協力をいただけたら、コミュニティセンターとしても非常に助かると思う。

基本方針 3 個性を生かし可能性を伸ばす教育の推進

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R6
基 本 目 標	1 未来を拓く子どもの育成				
基 本 方 針	3 個性を生かし可能性を伸ばす教育の推進				
主 要 施 策	1 S D G sの理念を取り入れた学習の推進				
事 業 名	15 主体的、対話的で深い学びの推進				
目 的	主体的、対話的で深い学びを実現し、新しい時代に求められる資質・能力を育成する学習活動を推進していく。協働学習、地域の人や教職員との対話、I C Tの活用等の有効な方法を適切に実施しながら、子供たちの学力向上に努めていく。				
事 業 実 施 状 況	<p>6月13日に、学力向上推進主任・I C T教育主任を対象に、愛媛県教育センターから指導主事を講師に招いて、出前講座「C B Tシステム(E I L S)の活用～授業での活用に向けた作問実習～」を開催した。個々の学習支援や教材作成等に役立てるため、県C B Tシステム(E I L S)の利用や作問について研修を深めた。</p> <p>10月4日(平野小学校：外国語科)と、11月14日に(新谷中学校：数学科)開催した学力向上推進主任研修会においては、学力向上専門委員会が作成した「おおずの授業スタンダード」に沿った授業、I C T機器を活用した対話的な学習についての授業研究を行った。また、各校にも「おおずの授業スタンダード」に沿った授業研究を行うよう呼び掛けた。</p>				
事 業 年 度	R3	R4	R5	R6	
事業費	予 算 額	0	0	0	0
	決 算 額	0	0	0	0
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
事 業 区 分	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	
財 源	国 庫 補 助 金	0	0	0	0
	県 補 助 金	0	0	0	0
	地 方 債	0	0	0	0
	そ の 他 特 財	0	0	0	0
	一 般 財 源	0	0	0	0
事 業 の 成 果	主体的、対話的で深い学びについて、授業参観及び授業研究を通して学ぶことができ、I C T機器を活用した対話的な学習の推進も図ることができた。I C T機器やW E B学習支援ツールの利用により、教職員の授業研究や学習の準備における業務改善にもつながった。				
自 己 評 価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課 題 ・ 問 題 点	I C T機器を活用した対話的な学習について、今後も、研究を進めていかなければならない。W E B学習支援ツールやW E B学習教材の活用を啓発し、協働学習や体験学習の実践方法や、個別最適な学習支援の在り方についても、研究していかなければならない。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R6
基 本 目 標	1 未来を拓く子どもの育成				
基 本 方 針	3 個性を生かし可能性を伸ばす教育の推進				
主 要 施 策	2 特別支援教育の充実				
事 業 名	16 こども家庭センターとの連携強化				
目 的	障がいのある子供に対する早期からの一貫した支援の充実を図ることを目的とし、地域の幼児児童生徒の実態把握や支援について保護者や学校等に助言するとともに、関係機関の連携を図る。				
事業実施状況	(1) 大洲市特別支援連携協議会 (2) 発達支援センター等連絡会 (3) 早期支援連携協議会（Web会議） (4) 南予地域発達障がい支援ネットワーク会議 (5) 大洲市障がい者自立支援協議会 (6) 保健センター連絡調整会議 (7) 3歳児健診カンファレンス (8) 幼稚園・保育所・こども園、小学校、中学校への巡回相談 (9) 発達障がい児家族等支援事業の準備 大洲市特別支援連携協議会を開催したり、様々な会に参加したりすることで、他機関との連携を図った。				
事業年度	R3	R4	R5	R6	
事業費	予 算 額	7,379	7,312	7,896	9,761
	決 算 額	6,297	6,910	7,324	9,107
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	85.3%	94.5%	92.8%	93.3%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	6,297	6,910	7,324	9,107
事業の成果	こども家庭センターが設立され、互いに連携しながら各種業務を行うことができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	今後、こども家庭センターや関係部署とより一層連携を深め、切れ目のない支援体制を整えていく必要がある。				

基本方針３ 個性を生かし可能性を伸ばす教育の推進

【外部評価委員意見】

- SDG s を取り入れた学習については、特化したものではなく、様々な授業において含みを持たせたものとなっており、今後、教職員の授業研究など学習支援や教材作成等に役立てていただきたい。
- こども家庭センターができ、様々な協議会や連絡会などのつながりが幅広くなり、障がいを持つ子供さんに対する支援がしっかりできてきているので、今後も関係機関と連携し継続してほしい。

基本方針 4 生涯学習の推進

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化振興課	係 名	生涯学習係	年度	R6
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	1 生涯学習の推進				
主 要 施 策	1 社会教育事業の推進				
事 業 名	17 成人式				
目 的	次代を担う20歳の若者を招待し、祝福及び激励をするため、成人式を開催する。				
事業実施状況	<p>大洲市に在住しているか、または在住したことがある20歳の若者を招待し、令和6年度式典を下記のとおり実施した。</p> <p>【令和6年度成人式～二十歳のつどい～】</p> <p>1 日 時 令和7年1月12日（日）13：00～</p> <p>2 場 所 大洲市民会館</p> <p>3 内 容</p> <p>(1)式典（記念品・花束贈呈、祝辞、お礼のことば等）</p> <p>(2)記念撮影（中学校区別）</p> <p>4 参加者 280人（対象者379人）</p>				
事業年度	R3	R4	R5	R6	
事業費	予 算 額	2,883	2,176	2,111	1,773
	決 算 額	2,102	1,590	1,386	1,450
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	72.9%	73.1%	65.7%	81.8%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	2,102	1,590	1,386	1,450
事業の成果	<p>対象者が20歳であることが分かりやすいよう式典名称にサブタイトル「～二十歳のつどい～」を追加し、運営委員の公募やフोटospottの設置など新しい取組も行った。</p> <p>また、市制施行20周年に合わせて、大洲市きらめき大使にも特別にご出演いただき、式典を盛大に開催することができた。</p>				
自己評価	所 属 長	◎	担 当 者	○	
課題・問題点	アトラクションなどの式典内容について、運営委員（成人者）の意見も聞きながら検討していく必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化振興課	係 名	生涯学習係	年度	R6
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	1 生涯学習の推進				
主 要 施 策	1 社会教育事業の推進				
事 業 名	18 大洲市民大学				
目 的	市民参加の生涯学習の充実を図り、市民の文化に対する意識の高揚を図るとともに、新たな知識を吸収する場を提供することを目的として、時代や地域課題に即したテーマで大洲市民大学を開催する。				
事業実施状況	<p>【前期】</p> <p>1 講 師 武内 陶子 氏 (フリーアナウンサー、大洲市きらめき大使)</p> <p>2 演 題 『いくつになっても希望しかない ～イキイキワクワク生きるために～』</p> <p>3 日 時 令和6年8月17日(土) 14:00～15:30</p> <p>4 場 所 大洲市総合福祉センター 4階多目的ホール</p> <p>5 聴講者 273人</p> <p>【後期】</p> <p>1 講 師 中村 文昭 氏 (有限会社クロフネカンパニー代表取締役)</p> <p>2 演 題 『お金でなく、人のご縁ででっかく生きろ!』</p> <p>3 日 時 令和7年2月15日(土) 14:00～15:30</p> <p>4 場 所 大洲市総合福祉センター 4階多目的ホール</p> <p>5 聴講者 251人</p>				
事業年度	R3	R4	R5	R6	
事業費	予 算 額	1,315	1,315	1,320	2,499
	決 算 額	0	660	844	1,166
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	0.0%	50.2%	63.9%	46.7%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	0	660	844	1,166
事業の成果	講師自らの体験に基づく講演によって、聴講者は新たな知識を得るとともに、考え方次第で人生は大きく変わるのだということを再認識できる機会となった。聴講者を対象にしたアンケート結果では、95%を超える人が講演内容を「よかった」と回答している。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	多くの市民に参加していただくために、多種多様な分野の中から時勢に合ったテーマや講師の選定を行い、有意義な講演会となるよう今後も検討が必要である。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名		文化振興課		係 名		生涯学習係		年度		R6	
基 本 目 標		2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興									
基 本 方 針		1 生涯学習の推進									
主 要 施 策		1 社会教育事業の推進									
事 業 名		19 科学体験フェスティバルin大洲									
目 的		子供たちが科学実験や工作を直接体験し、自然の不思議さや科学の面白さを実感することにより、科学や技術に対する興味や関心を高めていくことを目的に開催する。									
事業実施状況		<div>(桝山教育振興会助成事業)</div> <div>主に小中高生を対象として、小中学校、高校、高等専門学校等の教員や地域の有志が科学実験や工作等を直接体験できるブースを出展する体験型イベントを実施した。</div> <div>1 日 時 令和6年10月19日(土) 10:00～15:30</div> <div>2 場 所 ①国立大洲青少年交流の家(メイン会場) ②長高水族館(サブ会場)</div> <div>3 出展数 20ブース(長高水族館含む)</div> <div>4 来場者 1,765人(うち長高水族館は426人)</div> <div>5 スタッフ等 239人</div>									
事業年度		R3		R4		R5		R6			
事業費	予 算 額	1,300		1,783		1,754		1,787			
	決 算 額	0		1,600		1,538		1,584			
	繰 越 額	0		183		216		203			
	執 行 率	0.0%		89.7%		87.7%		88.6%			
事業区分		その他		その他		その他		その他			
財 源	国庫補助金	0		0		0		0			
	県補助金	0		0		0		0			
	地方債	0		0		0		0			
	その他特財	0		1,100		1,038		1,084			
	一般財源	0		500		500		500			
事業の成果		アンケート結果などから、来場者である子供たちの科学等に対する興味・関心を高めることができたものとする。また、ブースの企画運営にあたる教職員の資質向上にも寄与することができた。									
自己評価		所 属 長		○		担 当 者		○			
課題・問題点		それぞれの年齢層に応じた体験ができるようにブース内容を工夫する必要がある。また、教員の働き方改革の観点から、出展数の調整や従事内容等の見直しも課題となっている。									

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化振興課	係 名	生涯学習係	年度	R6
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	1 生涯学習の推進				
主 要 施 策	1 社会教育事業の推進				
事 業 名	20 社会教育関係団体活動支援事業				
目 的	<p>明るい地域づくりと家庭づくり、健全な青少年の育成と家族のつながり強化のために、社会教育関係団体（大洲市連合婦人会及び大洲市PTA連合会）に補助金を交付し、活動を支援する。</p>				
事業実施状況	<p>社会教育関係団体に補助金を交付し活動を支援した。</p> <p>1 補助金交付額</p> <p>(1)大洲市連合婦人会事業補助金 700千円</p> <p>(2)大洲市PTA連合会事業補助金 450千円</p> <p>2 補助金交付先の主な活動内容</p> <p>(1)大洲市連合婦人会</p> <p>①南予地域婦人教育研修会</p> <p>②女性リーダー研修</p> <p>③会員交流会</p> <p>④機関紙「おおずの婦人」発行</p> <p>⑤福祉事業の推進</p> <p>⑥青少年の体験活動や交流活動</p> <p>⑦家庭教育子育て支援活動</p> <p>⑧地域学校協働活動</p> <p>⑨福祉施設訪問</p> <p>(2)大洲市PTA連合会</p> <p>①広報誌「PTAおおず」発行</p> <p>②大洲市PTA連合会定期総会</p> <p>③親善レクバレー大会</p> <p>④女性リーダー研修</p> <p>⑤PTAセミナー</p>				
事業年度	R3	R4	R5	R6	
事業費	予 算 額	1,462	1,462	1,462	1,462
	決 算 額	1,230	1,462	1,375	1,150
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	84.1%	100.0%	94.0%	78.7%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	1,230	1,462	1,375	1,150
事業の成果	<p>社会教育関係団体である連合婦人会やPTA連合会の活動を支援し、明るい地域づくりや青少年の健全育成に寄与することができた。</p>				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	<p>会員数の減少や役員のなり手不足、保護者や教職員の働き方や少子化など、時代の変化に合わせた助言等を行い、今後も物心両面での支援が必要である。</p>				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化振興課	係 名	生涯学習係	年度	R6
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	1 生涯学習の推進				
主 要 施 策	1 社会教育事業の推進				
事 業 名	21 自治会活動支援事業				
目 的	公民館のコミュニティセンター移行に伴い、学級・講座や青少年健全育成事業等の「地域の学び事業」を自治会が主体となって実施することから支援を行う。				
事業実施状況	<p>自治会と市による協働の取組である「地域の学び事業」の支援を行った。</p> <p>1 出前講座や研修会等の情報提供 (1)県が実施する研修会等への案内 (2)県や各種団体・企業等から寄せられる出前講座の情報提供</p> <p>2 講師リストの更新 令和7年3月31日現在の登録数 38件</p> <p>3 職員研修会の開催 (1)開催日 令和6年11月13日(水) (2)内 容 家庭でできるクリーニング講座 (自治会事業の参考となる講座の体験) (3)参加者 29名</p>				
事業年度				R6	
事業費	予 算 額				40
	決 算 額				5
	繰 越 額				0
	執 行 率				12.5%
事業区分				市単独事業	
財 源	国庫補助金				0
	県補助金				0
	地方債				0
	その他特財				0
	一般財源				5
事業の成果	自治会が実施する学級・講座や青少年健全育成事業をはじめとした「地域の学び事業」を円滑に進めるため、出前講座の情報提供や日程調整等を行うとともに、コミュニティセンター職員を対象とした研修会を開催し、全ての自治会で順調に事業が展開できたものとする。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	令和7年度からはコミュニティセンターへの市正規職員の配置がなくなり、自治会事業のマナー化も懸念されるため、相談への細やかな対応やより多くの情報提供に努める必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化振興課	係 名	生涯学習係	年度	R6
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	1 生涯学習の推進				
主 要 施 策	1 社会教育事業の推進				
事 業 名	22 学級講座事業				
目 的	地域自治組織再編に伴い廃止となった中央公民館や文化研修センターの事業を継続し、市民の教養の向上、健康の増進等を図るための講座を開催する。				
事業実施状況	<p>1 子ども教室（絵画・卓球・英会話・手話）</p> <p>(1)期 間 令和6年9月7日～12月21日（各6回）</p> <p>(2)会 場 平コミュニティセンター</p> <p>(3)受講者 42名</p> <p>2 パソコン教室</p> <p>(1)期 間 令和6年8月3日～令和7年3月12日（12コース・全65回）</p> <p>(2)会 場 若宮コミュニティセンター</p> <p>(3)受講者 87名</p> <p>3 高齢者スマートフォン教室</p> <p>(1)期 間 令和6年9月3日～12月10日（3コース・全18回）</p> <p>(2)会 場 若宮コミュニティセンター 大洲イノベーションセンター</p> <p>(3)受講者 35名</p> <p>4 女性リーダー研修</p> <p>(1)期 日 【第1回】 令和6年11月22日 【第2回】 令和6年12月19日</p> <p>(2)会 場 【第1回】 徳島県美馬市ほか 【第2回】 若宮コミュニティセンター</p> <p>(3)受講者 【第1回】 36名 【第2回】 36名</p>				
事業年度					R6
事業費	予 算 額				2,961
	決 算 額				1,114
	繰 越 額				0
	執 行 率				37.6%
事業区分					市単独事業
財 源	国庫補助金				0
	県補助金				0
	地方債				0
	その他特財				0
	一般財源				1,114
事業の成果	子ども教室やパソコン教室をはじめとした各種教室を開催し、廃止となった中央公民館や文化研修センターの事業の一部を継続することができた。これにより、子どもから大人まで幅広い世代の学びを深めることができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	科学体験フェスティバルや市民大学など他の事業の準備期間や実施時期と重なっており、夜間や休日の開催も多い。担当する職員の負担軽減も考慮しながら、事業を見直していく必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化振興課	係 名	図書館	年度	R6
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	1 生涯学習の推進				
主 要 施 策	2 図書館・視聴覚センター事業の推進				
事 業 名	23 図書館資料収集整理事業				
目 的	生涯学習の拠点のひとつとして、多様な市民ニーズに対応するため、図書等の資料の充実に努めるとともに、文化遺産としての郷土資料を大切に保存し、郷土への理解の深化と郷土文化の向上に努める。				
事業実施状況	<p>○資料収集状況 (桧山教育振興会助成事業)</p> <p>(1)図書 購入冊数：大3,898、長704、肱528、河189、計5,319 寄贈冊数：大434 (うち、桧山文庫144)、長42、肱32、河0、計508 編入他冊数：大77、長△63、肱0、河△1、計13 廃棄冊数：大1,993、長2,501、肱0、河434、計4,928</p> <p>(2)CD 購入本数：大48、長0、肱0、河0、計48 寄贈本数：大0、長0、肱0、河0、計0 編入他本数：大0、長0、肱0、河0、計0 廃棄本数：大0、長0、肱0、河0、計0</p> <p>(3)DVD 購入本数：大48、長0、肱0、河0、計48 寄贈本数：大3、長0、肱0、河0、計3 編入他本数：大1、長0、肱0、河0、計1 廃棄本数：大1、長0、肱0、河0、計1</p> <p>(4)年度末蔵書数 ①本 館 171,527 ②長浜分館 26,488 ③肱川分館 15,545 ④河辺分館 7,408 計 220,968</p>				
事業年度	R3	R4	R5	R6	
事業費	予 算 額	13,476	13,577	13,940	13,940
	決 算 額	13,474	13,569	13,921	13,900
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	100.0%	99.9%	99.9%	99.7%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	400	400	400	400
	一般財源	13,074	13,169	13,521	13,500
事業の成果	市民の要望や蔵書構成バランスを考慮した一般・児童図書の選書購入と郷土資料の収集に努めるとともに、寄贈図書の整理や貴重資料の保存・修繕を行い、市民の広範な学習活動に供することができた。また様々な種類のバリアフリー資料も徐々に収集できてきている。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	収蔵能力を超過しているため、受入資料数を抑えけるとともに、計画的に除籍を行う必要がある。バリアフリー資料の収集には努めているが、実施要領作成などサービス提供のための準備はあまり進んでいない。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化振興課	係 名	図書館	年度	R6
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	1 生涯学習の推進				
主 要 施 策	2 図書館・視聴覚センター事業の推進				
事 業 名	24 読書活動推進事業				
目 的	市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的として事業推進を図る。特に、子供読書活動推進に対する保護者の理解促進を図り、家庭での読み聞かせや読書の重要性を啓発する。				
事業実施状況	<p>○ 主な事業</p> <p>(1)生涯学習講座（5月～3月：10回） 参加者：延べ172人</p> <p>(2)おはなし会（年間34回） （プラタナスの会、おはなし玉手箱、ビブリオおはなし会、図書館主催おはなし会） 参加者：延べ702人</p> <p>(3)読書感想文集（令和6年12月） 応募者：104人、入賞者：18人、佳作者：86人</p> <p>(4)読書感想画展（令和7年1月） 応募者：130人、入賞者：119人、観覧者：583人（大洲）</p> <p>(5)多読書者表彰（令和7年3月） 低学年：150冊、中学年：100冊、高学年：50冊（ページ数の場合、3～6年生：10,000ページ）、中学生：30冊 応募者：949人</p> <p>(6)うちどく（家読）事業</p> <p>①うちどくチャレンジ！努力賞・最多賞表彰（令和7年2月） 努力賞受賞者：39人、最多賞受賞者：12人</p> <p>②うちどくチャレンジ！コンテスト表彰（令和7年2月） 学校への応募総数：470人 図書館への応募数（学級3人まで）：92人 最優秀賞受賞者：5人、優秀賞受賞者：5人、佳作者：24人</p> <p>③五郎地区親子体験学習会「うちどく」（令和6年6月） 参加者：子供7名、大人5名、五郎自治会2名</p> <p>(7)ブックトーク 長浜小学校（令和6年10月） 対象：5年生33名</p> <p>(8)大洲市読書活動研究集会（矢野雅世氏講演会） 参加者：58名</p>				
事業年度	R3	R4	R5	R6	
事業費	予算額	811	964	903	903
	決算額	741	884	810	793
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	91.4%	91.7%	89.7%	87.8%
事業区分	その他	その他	その他	その他	
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	741	884	810	793
事業の成果	五郎コミュニティセンターの依頼に応え、親子体験学習会にて「うちどく実践講座」を行い、家庭への働きかけができた。また、長浜小学校の依頼により「ブックトーク」を行い、読書への関心を持たせることができた。読書活動研究集会を開催し市民の教養を高めることができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	うちどく事業の取組状況については、学校等により大きな差があるため、関係施設に協力を呼びかけるなどの連携強化が必要。うちどくの取組が難しい年齢層や家庭環境の子どものために、ともどく（友読）実施に向けても検討していく必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化振興課	係 名	図書館	年度	R6
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	1 生涯学習の推進				
主 要 施 策	2 図書館・視聴覚センター事業の推進				
事 業 名	25 視聴覚教育推進事業				
目 的	視聴覚教材等の整備を図るとともに、学校教育・社会教育の視聴覚教育の発展に寄与する。				
事業実施状況	<p>学校、社会教育施設等で行われる研修や学習会において、効果的な視聴覚教材を提供するため、内子町、大洲市の教諭や社会教育担当職員で構成する大洲市視聴覚センター研究委員会を開催し、購入希望教材を検討・協議するとともに管内での視聴覚教材や、機器の利用状況を把握した。</p> <p>(1) 視聴覚機材及びDVD教材購入 ・DVD教材（人権啓発等）6本</p> <p>(2) 教材等利用状況 ・ビデオ：大洲6件、内子0件 合計6件 ・16mm ：大洲10件、内子0件 合計10件 ・DVD ：大洲16件、内子8件 合計24件</p>				
事業年度	R3	R4	R5	R6	
事業費	予 算 額	483	483	483	483
	決 算 額	477	407	482	415
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	98.8%	84.3%	99.8%	85.9%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	477	407	482	415
事業の成果	視聴覚教材を整備し、利用しやすい環境をつくり、情報化社会に対応したマルチメディア教材の普及に努め、学校教育・社会教育における視聴覚教育の振興に寄与した。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	教材等の利用数が少ないため、利用者の求める資料の収集、周知方法等について検討する必要がある。				

基本方針 4 生涯学習の推進

【外部評価委員意見】

- 科学体験フェスティバルについて、サブ会場として長浜高校水族館を使用して実施されており、小中学校だけでなく市内の高校も参加できる体験となったことは大変うれしいことだと思う。継続できるものであれば、ぜひ今後も継続していただきたい。
- 大洲市民大学について、毎年講師の方を幅広く選出していただき、とても楽しみにしている。夏休みに開催していただいたので、子供たちもたくさん参加していただいた。内容によっては、今回のように夏休み開催というのも視野に入れていただきたい。また、今の御時世なので、笑いを取れるような「ほんわか」した市民大学であってもいいのではないかと考える。
- 自治会活動への支援について、教育委員会からパンフレットや出前講座の案内などをいただいております、大変参考になり感謝している。今後もつなぎをしていただくよう御支援をお願いしたい。

基本方針 5 文化・芸術の振興

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化振興課	係 名	文化振興係	年度	R6
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	2 文化・芸術の振興				
主 要 施 策	1 文化・芸術活動の推進				
事 業 名	26 親と子のコンサート事業				
目 的	国内外で活躍する演奏者の音楽を通して、大洲市民の文化・芸術の向上並びに青少年の豊かな感性及び創造力の育成を目的としてコンサートを開催する。				
事業実施状況	<p style="text-align: right;">(桝山教育振興会助成事業)</p> <p>○おおず親と子のコンサート2024 ～サクソフォン八重奏団Saxaccordコンサート～</p> <p>■実施日時 令和6年9月22日 14時から ■会 場 市民会館大ホール ■演 奏 者 サクソフォン八重奏団 「Saxaccord(サクサコール)」(代表 二宮和弘) ■来 場 者 415名</p> <p>【関連イベント】 ○サクソフォン講習会&ミニコンサート ■実施日時 令和6年9月21日 13時30分～16:30 ■会 場 大洲市立大洲北中学校 ■指 導 者 Saxaccord ■参 加 者 31名(市内中高生 24名、市外中高生 7名)</p>				
事業年度	R3	R4	R5	R6	
事業費	予 算 額	1,000	1,500	1,500	1,500
	決 算 額	900	1,414	761	1,197
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	90.0%	94.3%	50.7%	79.8%
事業区分	その他	その他	その他	その他	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	500	500	500
	一般財源	900	914	261	697
事業の成果	サクソフォン八重奏という珍しい編成の楽団でもあり、かつ聞き馴染みのあるクラシックの名曲とともに、美空ひばりメドレーなどポップスの曲もあって、来場者の満足感も高いコンサートとなった。また、市内外の中高生を対象に、サクソフォンの講習会を開催したところ、31名の参加があり、演奏技量の向上を図る機会となった。				
自己評価	所 属 長	◎	担 当 者	○	
課題・問題点	演奏者の選定や、コンサートの開催方法などについて検討していく必要がある。ホール内の暖房調整が難しいため、座席位置によって「暑い」「寒い」の意見があり改善が求められる。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化振興課	係 名	文化振興係	年度	R6
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	2 文化・芸術の振興				
主 要 施 策	1 文化・芸術活動の推進				
事 業 名	27 文化・芸術団体活動支援事業				
目 的	文化・芸術団体の活動支援を行うとともに、文化・芸術に対する市民の意識の高揚を図る。				
事業実施状況	<p>市民の文化・芸術に対する意識の高揚を図るため、文化・芸術活動を実施している団体に対し、事業運営補助として支援を実施した。</p> <p>1 文化・芸術団体への活動補助 ■補助実績 5団体 1,734千円 ・柳沢げんじぼたる保存会 120千円 ・大洲市文化協会 1,275千円 ・かわべ扇子踊り保存会 17千円 ・大洲史談会 161千円 ・長浜史談会 161千円</p> <p>2 ながはま赤橋俳句大会 広く投句を募集し、応募された句を選句し、結果を発表した。</p> <p>3 大洲少年少女合奏団活動支援（桝山教育振興会助成事業） 令和6年度から桝山教育振興会助成金の申請を再開され、音楽祭や、コミュニティセンターでのミニコンサートを開催するなどの活動を行った。</p>				
事業年度	R3	R4	R5	R6	
事業費	予 算 額	3,119	3,136	3,219	3,082
	決 算 額	2,286	2,347	2,699	2,223
	繰 越 額				
	執 行 率	73.3%	74.8%	83.8%	72.1%
事業区分	その他	その他	その他	その他	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	2,286	2,347	2,699	2,223
事業の成果	参加者減によって、活動を見合わせた事業もあったが、ほぼすべての事業が順調に行われ、芸能祭・音楽祭・郷土芸能発表会のほか、各種作品展示会、史談会の例会や講演会なども活発に実施され、多くの参加者を得ることができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	各種団体の構成員の高齢化により、団体数が減少しつつあるため、伝統文化を継承していくための方策を検討の必要性が高まっている。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化振興課	係 名	文化振興係	年度	R6
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	2 文化・芸術の振興				
主 要 施 策	1 文化・芸術活動の推進				
事 業 名	28 新・大洲市史編纂事業				
目 的	合併20周年を契機として、旧誌の内容を分析し見直すとともに、可能な限り関係する資料を調査し、大洲が培ってきた文化・風土を研究し、『大洲市史』を編纂・発行する。				
事業実施状況	<p>自治体史編纂の実績を持つ史学部門の大学教授をはじめ、大洲に関する研究を行っている地方史研究者、市内及び近隣の各史談会関係者や有識者を委員する「大洲市史編纂準備委員会」において、基本方針（市史の内容、刊行形態、市史編纂委員会、執筆委員）などについて協議を行った。</p> <p>■基本方針（案）の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本方針 ①郷土の歴史を分かり易く、様々な場で活用しやすい形でまとめる。 ②地域を知る事ができる資料の整理・保存に努め、次の世代に繋げる。 ③「郷土をより深く知りたい」という想いを高める。 				
事業年度					R6
事業費	予 算 額				251
	決 算 額				56
	繰 越 額				
	執 行 率				22.3%
事業区分					その他
財 源	国庫補助金				0
	県補助金				0
	地方債				0
	その他特財				0
	一般財源				56
事業の成果	<p>課内協議により基本方針案の内容をより深めるとともに、各巻の内容についても概要を定めることができた。有識者による市史編纂準備委員会に基本方針案を図り、了承を得ることができた。</p> <p>新年度では市史編纂体制を固め、基本方針により、各編の項目を定め執筆陣容を整えるなど、執筆・調査の基礎作業に進むものとする。</p>				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	市史の記述にあたっては、読みやすさに考慮をするとともに、根拠史料や引用文献の明示などを行い、今後の研究や学習などに対応できるものとする必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化振興課	係 名	文化振興係	年度	R6
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	2 文化・芸術の振興				
主 要 施 策	2 文化財の保存と活用				
事 業 名	29 文化財保存活用及び顕彰事業				
目 的	文化財の保存・活用などに関する指導・支援を行うとともに、見学会などを開催することで市民の文化財への関心と愛護精神の高揚を図る。				
事業実施状況	1 臥龍山荘庭園管理事業の推進 ■管理技術指導 令和6年7月16日、令和7年1月16日 2 「大洲城跡」石垣保存修復事業の推進（都市整備課共同事業） ■二の丸北曲輪（石垣D-1箇所）の発掘調査・石垣解体工事の実施 3 大洲市埋蔵文化財センター管理及び出土遺物整理の充実 4 大洲市文化財保護事業補助金の交付 ■申請件数 2件 ■交付決定額 695千円 5 肱南地区の歴史的風致の維持向上 ■肱南地区歴史的風致形成建造物調査 3件				
事業年度	R3	R4	R5	R6	
事業費	予 算 額	15,426	21,476	13,698	13,317
	決 算 額	10,679	15,650	10,991	10,074
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	69.2%	72.9%	80.2%	75.6%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	1,148	1,539	0
	県補助金	0	484	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	10,679	14,018	9,452	10,074
事業の成果	「大洲城跡」石垣保存修復事業では、石垣D-1箇所の石垣解体工事に着手し、年度内に解体及び発掘調査を終えることができた。また、肱南地区歴史的風致形成建造物調査を実施することにより、肱南地区の歴史的風致の維持向上を推進することができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	文化財の普及啓発を図るとともに、文化財への関心をより高めるための見学会や講演会などを積極的に実施していく必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名		文化振興課		係 名	文化振興係		年度	R6
基 本 目 標		2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興						
基 本 方 針		2 文化・芸術の振興						
主 要 施 策		2 文化財の保存と活用						
事 業 名		30 民俗芸能保存団体活動支援事業						
目 的		各地域における民俗芸能保存団体活動の支援と、地域に根付いた歴史・伝統・文化の伝承を図る。						
事業実施状況		1 無形文化財・無形民俗文化財に指定されている団体への活動補助 ■補助実績 6 団体 936千円 ・主馬神伝流保存会 400千円 ・藤縄神楽保存会 242千円 ・上須戒相撲甚句保存会 50千円 ・青島盆踊り保存会 0千円 ・伊予長浜豊年踊り保存会 80千円 ・豊茂五ツ鹿踊り保存会 0千円 ・大谷文楽保存会 100千円 ・山鳥坂鎮縄神楽保存会 64千円 2 大洲神伝流保存会日本泳法大会出場事業（桝山教育振興会助成事業） ■第69回日本泳法大会（広島市） 開催日 令和6年8月24、25日						
事業年度		R3		R4		R5		R6
事業費	予 算 額	1,325		1,325		1,109		1,159
	決 算 額	646		967		1,086		1,136
	繰 越 額	0		0		0		0
	執 行 率	48.8%		73.0%		97.9%		98.0%
事業区分		その他		その他		その他		その他
財 源	国庫補助金	0		0		0		0
	県補助金	0		0		0		0
	地方債	0		0		0		0
	その他特財	0		181		200		200
	一般財源	646		786		886		936
事業の成果		地域に根付いた歴史・伝統・文化の継承活動に対する財政的支援を行い、後継者育成などに寄与することができた。						
自己評価		所 属 長	○	担 当 者	○			
課題・問題点		各団体ともに若手後継者の育成に努めているところであるが、構成員の高齢化も進んでおり、活動内容の維持に支障を来たしつつある。						

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化振興課	係 名	文化振興係	年度	R6
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	2 文化・芸術の振興				
主 要 施 策	3 文化財調査の実施				
事 業 名	31 指定文化財見直し事業				
目 的	指定文化財について、専門家による学術的な再調査を実施することで文化財的価値を明確にし、新たな文化財の発見や指定解除の判断材料とする。				
事業実施状況	<p>市内に所在する指定文化財 1 件と未指定文化財 7 件の調査を実施した。なお、指定文化財の 1 件の解除について検討を行った。</p> <p>■調査物件 8 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・史跡 菅田城跡、平地高森城跡、皿森城跡、夷嶽城跡、御代城跡、滝ノ城跡、三好城跡 ・天然記念物 和霊神社のツブラジイ 				
事業年度	R3	R4	R5	R6	
事業費	予 算 額	113	183	183	190
	決 算 額	23	15	30	30
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	20.4%	8.2%	16.4%	15.8%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	23	15	30	30
事業の成果	本調査により、文化財の指定、解除の判断材料となる資料を蓄積することができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	特に有形文化財の絵画、歴史資料、彫刻などの分野について、専門家を招聘して調査を進めていく必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化振興課	係 名	文化振興係	年度	R6
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	2 文化・芸術の振興				
主 要 施 策	3 文化財調査の実施				
事 業 名	32 市内遺跡確認調査事業				
目 的	「四国八十八箇所霊場と遍路道」の世界遺産登録に向けた取組として、本市では旧宇和島街道と旧八幡浜街道を対象に、国の史跡指定を目指した調査事業を実施する。また、中世城館跡や弥生時代遺跡などの市内遺跡についても並行して調査を実施する。				
事業実施状況	<p>1 中世城郭跡調査 菅田城跡・平地高森城跡・滝ノ城跡などの城跡について、試掘調査や縄張図の作成などを行った。</p> <p>2 弥生時代遺跡調査 村島宮の首遺跡・都谷遺跡について試掘調査を実施するとともに出土遺物の整理作業を進めた。 また、村島宮の首遺跡では一般向けの現地説明会や小中学生を対象とした遺跡発掘体験会を開催した。</p> <p>■現地指導 令和6年7月19日 愛媛大学名誉教授 令和7年3月10日 元愛媛県教委文化財保護課担当官</p> <p>■現地説明会 日 時 令和6年8月3日 10時30分～ 会 場 村島宮の首遺跡 参加者 18名</p> <p>■遺跡発掘体験会 日 時 令和6年8月24日 午前・午後 会 場 村島宮の首遺跡 参加者 6名</p>				
	R3	R4	R5	R6	
事業費	予 算 額	8,091	3,862	5,199	3,190
	決 算 額	5,680	3,175	4,781	2,935
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	70.2%	82.2%	92.0%	92.0%
事業区分	補助事業	補助事業	補助事業	補助事業	
財 源	国庫補助金	2,839	1,540	2,390	1,460
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	2,841	1,635	2,391	1,475
事業の成果	村島宮の首遺跡で7年ぶりとなる現地説明会や市内で初の試みとなる遺跡発掘体験会を開催し、調査成果や遺跡の重要性を広く周知することができた。				
自己評価	所 属 長	◎	担 当 者	◎	
課題・問題点	中世城館跡調査、弥生時代遺跡調査は継続して調査を推進するとともに、これまでに発見された出土品の整理作業、成果をまとめた調査報告書の作成が課題である。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化振興課	係 名	文化振興係	年度	R6
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	2 文化・芸術の振興				
主 要 施 策	3 文化財調査の実施				
事 業 名	33 市内絵馬調査事業				
目 的	大洲市内66か所の神社に奉納されている江戸時代から大正期までの絵馬約330点について、現状調査を実施し、歴史的価値を明確にする。さらに、大洲市の歴史・文化を継承するために必要と判断される絵馬については、積極的に文化財指定を図っていく。				
事業実施状況	<p>今年度は、大洲地域の調査及び補足調査を実施するとともに、調査成果を取りまとめた調査報告書の作成を行った。</p> <p>■最終調査神社数 71社 大洲地域（46社）長浜地域（18社） 肱川地域（4社）河辺地域（3社）</p> <p>■最終絵馬点数 794点</p> <p>■大洲市内絵馬調査報告書 令和7年3月28日発行 発行部数300部</p>				
		R3	R4	R5	R6
事業費	予 算 額	948	1,027	508	1,009
	決 算 額	115	715	328	696
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	12.1%	69.6%	64.6%	69.0%
事業区分		補助事業	補助事業	補助事業	補助事業
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	115	715	328	696
事業の成果	大洲市内における絵馬の現況調査を実施することができ、江戸時代後期の絵馬が多数残されていることがわかった。				
自己評価	所 属 長	◎	担 当 者	○	
課題・問題点	調査成果や絵馬の価値について市民に伝えていくため、講座等で広く周知していく必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化振興課	係 名	文化振興係	年度	R6
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	2 文化・芸術の振興				
主 要 施 策	3 文化財調査の実施				
事 業 名	34 郷土の先哲顕彰事業				
目 的	<p>市民や子供たちに「ふるさとを愛する心」を育成する手段として、5か年計画で大洲市出身者又は大洲市にゆかりの深い人の功績などを紹介することで、市民のふるさと意識の高揚を図る。</p> <p>なお、初年度となる令和6年度は、五稜郭を設計した武田斐三郎に焦点を当てた事業を展開する。</p>				
事業実施状況	<p>五稜郭を設計した武田斐三郎に焦点を当てた事業を実施した。</p> <p>■特別展の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別展「蘭学者 武田斐三郎」 ・開催期間 令和6年10月8日（火）～12月15日（日） ・展示解説会 10月20日（日）、11月17日（日） ・来場者数 786名 <p>■武田斐三郎顕彰巡回展・学習会の実施</p> <p>【巡回パネル展】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催期間 令和6年10月～令和7年3月 ・参加学校数 15校 <p>【出前学習会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催期間 令和6年11月～令和7年3月 ・参加学校数 14校 <p>■古学堂授業再現イベントの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 令和6年11月10日（日） ・場 所 古学堂学室 ・講 師 大本敬久（愛媛大学地域推進機構特定准教授） ・参加者数 午前の部：9名 午後の部：15名 				
					R6
事業費	予 算 額				1,313
	決 算 額				1,055
	繰 越 額				0
	執 行 率				80.4%
事業区分					補助事業
財 源	国庫補助金				0
	県補助金				0
	地方債				0
	その他特財				0
	一般財源				1,055
事業の成果		<p>特別展開催により、多くの市民に武田斐三郎の功績について紹介するとともに、小中学校への出前授業を通して、日本の近代化に大洲出身者である武田斐三郎も関わっていたことを紹介することができた。</p>			
自己評価		所 属 長	◎	担 当 者	○
課題・問題点		<p>小中学校への出前授業にあたって、人物の活躍した時代背景なども踏まえ、もう少し分かりやすい内容に取り組む必要がある。</p>			

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名		文化振興課		係 名	文化振興係		年度	R6
基 本 目 標		2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興						
基 本 方 針		2 文化・芸術の振興						
主 要 施 策		4 博物館事業の推進						
事 業 名		35 資料収集整理事業						
目 的		大洲市に関する資料の調査・収集に努めるとともに、企画・特設展の開催に伴う資料調査を実施する。 収蔵資料の整理、目録を作成するとともに、収蔵品管理システムへの登録を行うことで、利用者が利用しやすい環境を整える。						
事業実施状況		1 収蔵資料 ■購入 3 件 ・若宮養徳画「鯉絵」 ・加藤泰恒画「鷹鷲図」 ・長崎海岸之図 ■寄贈 9 件 ・大洲藩札 ・クジャク剥製 ・新谷村役場領収書関係資料 ・大塚豊三郎関係資料 ・三糸館関係資料 ・當川正範資料 ・中江藤樹関係資料 ・藩札（大洲藩・新谷藩） ・大橋文養斎関係資料 ■寄託 2 件 ・株式会社新谷銀行沿革 ・中村三綱資料 2 収蔵品管理システム「I. B. MUSEUM」を活用し、収蔵品管理の効率化を図り、資料調査者へ検索システムを提供した。 ■利用件数 30件						
事業年度		R3		R4		R5		R6
事業費	予 算 額	1, 266		1, 653		1, 669		1, 711
	決 算 額	1, 071		1, 619		1, 281		1, 632
	繰 越 額	0		0		0		0
	執 行 率	84. 6%		97. 9%		76. 8%		95. 4%
事業区分		市単独事業		市単独事業		市単独事業		市単独事業
財 源	国庫補助金	0		0		0		0
	県補助金	0		0		0		0
	地 方 債	0		0		0		0
	そ の 他 特 財	0		0		0		0
	一 般 財 源	1, 071		1, 619		1, 281		1, 632
事業の成果		大洲市に関する資料の収集に努めた。特に中江藤樹関係資料の寄贈によって、中江藤樹関係の資料の充実を図ることができたほか、常設展での活用を図ることができた。また、収蔵資料について、目録第2集を刊行することで資料活用の環境を整えることができた。						
自己評価		所 属 長	○	担 当 者	○			
課題・問題点		収蔵資料の増加により収蔵庫が手狭となっており、資料の受け入れ方法について検討していく必要がある。						

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化振興課	係 名	文化振興係	年度	R6
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	2 文化・芸術の振興				
主 要 施 策	4 博物館事業の推進				
事 業 名	36 展示活動事業				
目 的	魅力的な企画・特別展・特設展の開催に努めるとともに、歴史・民俗・自然など、常設展の充実を図る。また、市民ギャラリーなどを開催し、特別展示室の有効活用を図る。				
事業実施状況	1 大洲市立博物館（入館者 5,594人） 2 主な展示活動 ■企画展（4階展示室） 「新収蔵品展」 令和6年4月27日～6月30日 「大洲城展」 令和6年7月13日～令和6年9月23日 「人を記憶する展」 令和7年1月11日～4月6日 ■市民ギャラリー（5階特別展示室） 「鉄道写真展」 令和6年8月10日～8月18日 「南久米なごみ会パッチワーク+α展」 令和6年9月14日～9月23日 「藤樹まつり児童生徒作品展」 令和6年10月18日～11月17日 「小学校理科自由研究作品展」 令和6年12月11日～令和7年1月7日 「第10回県展出品者（大洲市在住）並びに大洲市内高校生（有志生徒）作品展」 令和7年1月28日～2月26日				
事業年度	R3	R4	R5	R6	
事業費	予 算 額	347	347	239	482
	決 算 額	341	208	198	434
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	98.3%	59.9%	82.8%	90.0%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	341	208	198	434
事業の成果	入館者把握について、新たに入館者カードを作成することで、展示ごとの入館者把握を行うことができた。 また、様々な市民ギャラリーを開催することで、特別展示室の有効活用を図ることができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	入館者に対して、展示内容等が伝わるよう展示構成や解説などについて工夫を行っていく必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化振興課	係 名	文化振興係	年度	R6
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	2 文化・芸術の振興				
主 要 施 策	4 博物館事業の推進				
事 業 名	37 教育活動事業				
目 的	一般市民や小学生を対象とした教室・講座などを開設するとともに、博物館報を発行し、生涯学習の機会や情報の提供を行う。				
事 業 実 施 状 況	<p>1 ふるさと見聞講座（生涯学習講座） ■対象者 一般市民(成人) ■開講実績 7回 ■参加人数 183人</p> <p>2 大洲歴史文化教室（桝山教育振興会助成事業） ■対象者 小学4・5・6年生 ■開催実績 6回 ■参加人数 126人</p> <p>3 大洲自然科学教室（桝山教育振興会助成事業） ■対象者 小学4・5・6年生 ■開催実績 6回 ■参加人数 160人</p> <p>4 史談会活動の支援 大洲の歴史・地理・文化・産業などに関する調査・研究を行う 大洲史談会に対して事業の活動支援を行った。</p> <p>5 学校教育との連携 ■中学校職場体験 ・新谷中学校 令和6年7月2日～5日 ■大学博物館実習 ・徳島文理大学 令和6年8月29日～25日 ■小学校授業サポート ・喜多小学校 令和6年6月10日 11月6日 1月21日 3月6日 ・新谷小学校 令和6年10月25日 ・肱川小学校 令和6年11月7日 ・長浜小学校 令和6年11月22日 ・大洲北中学校 令和6年12月10日 ・菅田小学校 令和7年2月14日</p>				
事 業 年 度	R3	R4	R5	R6	
事業費	予 算 額	1,620	1,620	1,500	1,568
	決 算 額	1,554	1,520	1,457	1,535
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	95.9%	93.8%	97.1%	97.9%
事 業 区 分	その他	その他	その他	その他	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	900	900	900	0
	一般財源	654	620	557	1,535
事 業 の 成 果	一般市民や小学生を対象とした講座・教室を開設することで、生涯学習の機会を提供することができた。また、博物館資料を活用した社会科・生活科・総合的な時間における授業サポートを実施することで、学校との連携を図ることができた。				
自 己 評 価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課 題 ・ 問 題 点	博物館が収蔵する豊富な資料を教育資源として有効活用していくために、学校へ情報提供を行うだけでなく、学校をはじめ関係機関と綿密な連携を図っていく必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名		文化振興課		係 名		文化振興係		年度	R6
基 本 目 標		2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興							
基 本 方 針		2 文化・芸術の振興							
主 要 施 策		4 博物館事業の推進							
事 業 名		38 博物館等施設再編の検討							
目 的		<p>市内博物館等施設は、建築後40年を越える施設もあり老朽化が著しく進んでいる。また、収蔵庫についても飽和状態となっており、改修又は建替えなどについて検討する必要性が生じている。</p> <p>このことから、現状を調査し課題等を整理し大洲市全体の博物館等施設の根本的な役割及び必要性及び方針を検討する。</p>							
事業実施状況		<p>今後博物館等施設の方角性を導き出すため、現状課題等を抽出し、課内において大洲市全体の博物館等施設の根本的な役割や方向性について検討した。</p> <p>また、検討において、大洲市と技術連携協定を締結している「株式会社エイト日本技術開発」から他の自治体の事例の紹介や、一般的な考え方などについての意見を受けた。</p>							
事業年度				R5		R6			
事業費	予 算 額			0		0			
	決 算 額			0		0			
	繰 越 額			0		0			
	執 行 率								
事業区分				その他		その他			
財 源	国庫補助金			0		0			
	県補助金			0		0			
	地方債			0		0			
	その他特財			0		0			
	一般財源			0		0			
事業の成果		<p>市内博物館施設の現状や課題から今後の方向性などについて、文化振興課内での意見集約に努め、今後の進め方について検討した。</p>							
自己評価		所 属 長	△	担 当 者	△				
課題・問題点		<p>博物館及び担当課内のほか関係部署などを含めた、新たな博物館についての方向性を協議する必要がある。</p>							

基本方針 5 文化・芸術の振興

【外部評価委員意見】

- 親と子のコンサート事業について、本来は市内向けの事業であるが、興味を持ってもらい、市外の中学校や高校からも参加いただき大変よかった。
- 市史編纂事業は、大変な作業であると思うが御尽力いただきたい。出来上がりは紙ベースも必要だと思うが、予算措置ができるようであれば、データ媒体による発刊、あるいは市のホームページからでも閲覧できるとよい。
- 五稜郭を設計した武田斐三郎さんに焦点を当てた事業では、子供たちや多くの市民に紹介ができてよかった。
- 博物館の再編について、収蔵庫の飽和状態の解消をお願いしたい。

基本方針 6 スポーツの振興と健康・体力づくりの推進

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	スポーツ振興課	係 名	スポーツ推進係	年度	R6
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	3 スポーツの振興と健康・体力づくりの推進				
主 要 施 策	1 スポーツ振興の総合的かつ計画的な推進				
事 業 名	39 大洲市スポーツ推進計画見直し事業				
目 的	令和2年3月に策定した「大洲市スポーツ推進計画」は、令和6年度までを計画期間として各施策を推進してきた。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大や急速な少子化の進行等、スポーツを取り巻く社会環境に大きな変化が生じたことにより、平準的な計画の検証が困難となった。このため、市総合計画、国・県の推進計画との整合性を図るとともに、現行計画期間を2年間延長し令和8年度までとした。				
事業実施状況	<p>1 スポーツ機運の定着と地域振興 大洲市公式HP、LINEを活用した情報発信</p> <p>2 スポーツ参画人口の拡大 (1)ラケットテニスの普及促進 ・定期開催 7地区（長浜、南久米、平、沖浦、白滝、豊茂、大和） ・ラケットテニス大会の開催 大洲市ラケットテニス大会 令和6年11月10日(6チーム42人) 長浜地区親善ラケットテニス交流会 令和7年3月16日(3チーム22人)</p> <p>3 スポーツ環境の充実と競技スポーツの発展 (1)総合型スポーツクラブの情報収集 愛媛県総合型スポーツクラブ連絡協議会において意見交換 (2)スポーツ表彰制度の充実 ・懸垂幕の掲出 29件 ・全国大会等出場激励金の交付 127人</p> <p>4 スポーツを通じた交流の促進と地域活性化 (1)「愛媛オレンジバイキングス」バスケットボール教室の開催 ・令和6年10月26日(参加者28人)</p>				
事業年度	R3	R4	R5	R6	
事業費	予算額	621	621	747	3,870
	決算額	542	689	581	2,580
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	87.3%	111.0%	77.8%	66.7%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	542	689	581	2,580
事業の成果	大洲市ラケットテニス大会を開催したところ、長浜地区からの要望により新たに交流会も開催し、普及促進に努めた。「大洲市スポーツ推進計画」の各施策の推進は、各項目の数値目標の達成に向け、関係団体と連携しながら、スポーツイベント等を実施した。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	市民の健康増進やコミュニティ形成を目的として、ニュースポーツ、プロスポーツを活用した地域活性化に向けた取組を検討する必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	スポーツ振興課	係 名	スポーツ推進係	年度	R6
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	3 スポーツの振興と健康・体力づくりの推進				
主 要 施 策	1 スポーツ振興の総合的かつ計画的な推進				
事 業 名	40 健康寿命延伸事業の推進				
目 的	市民の心身の健康維持と体力向上、かつ介護予防のための運動習慣の定着を図るため、コミュニティセンターや総合体育館において、軽度な運動やスポーツを自主的に行うことができる体操教室等を開催した。				
事業実施状況	<p>1 「いきいき百歳体操」の普及促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施団体 3 コミュニティセンター（久米、豊茂、白滝） ・参加者 619人 <p>2 総合体育館における教室の開催</p> <p>(1) バランスボール教室（毎週土曜日）</p> <ul style="list-style-type: none"> 【1部】42回 参加者44人 【2部】42回 参加者40人 <p>(2) からだすっきり体操（第1・3木曜日）</p> <ul style="list-style-type: none"> 【前期】8回 参加者39人 【後期】8回 参加者35人 <p>(3) ステップエクササイズ教室（第2・4木曜日）</p> <ul style="list-style-type: none"> 【前期】8回 参加者20人 【後期】8回 参加者20人 				
事業年度	R3	R4	R5	R6	
事業費	予算額	360	360	240	640
	決算額	180	240	175	580
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	50.0%	66.7%	72.9%	90.6%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	180	240	175	580
事業の成果	「いきいき百歳体操」の継続により、市民の健康づくりに対する意識高揚及び介護予防に寄与した。 総合体育館の体操教室等は、参加者アンケートで高い評価を得ており、生活の維持・体力向上に貢献した。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	教室を持続的に開催していくためには、指導者の確保に加え、受益者負担の在り方についても検討する必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	スポーツ振興課	係 名	スポーツ推進係	年度	R6
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	3 スポーツの振興と健康・体力づくりの推進				
主 要 施 策	2 スポーツイベントの充実と開催				
事 業 名	41 大洲市カヌーツーリング駅伝大会				
目 的	郷土の母なる川「肱川」の自然に親しむことにより、「川」を大切に する意識の高揚を図るとともに、カヌーの普及と生涯スポーツの振興に 資する。				
事業実施状況	○大洲市カヌーツーリング駅伝大会 ・実施日時 令和6年8月18日 午前9時～ ・コース 肱川カヌーコース (肱川橋下河川敷⇄肱南ピクニックランド河原) ・参加者 191人 (27チーム)				
事業年度	R3	R4	R5	R6	
事業費	予 算 額	712	712	712	712
	決 算 額	0	444	712	712
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	0.0%	62.4%	100.0%	100.0%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	0	444	712	712
事業の成果	暑さ対策としてミストファンを設置し、参加者等の安全対策を図りな がら、カヌーの普及に寄与することができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	参加者が安全・安心に参加できるよう魅力ある競技内容等を検討して いく必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	スポーツ振興課	係 名	スポーツ推進係	年度	R6
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	3 スポーツの振興と健康・体力づくりの推進				
主 要 施 策	2 スポーツイベントの充実と開催				
事 業 名	42 大洲市駅伝大会				
目 的	大会参加チームの相互交流を深めるとともに、駅伝の普及に努める。 また、市民の健康づくり・体力づくりに対する意識高揚及び活性化を図る。				
事業実施状況	○大洲市駅伝大会 ・実施日時 令和6年11月24日 午前9時30分～ ・コース 若宮堤防折り返しコース (若宮堤防⇄喜多小学校) ・参加者 190人 (38チーム)				
事業年度	R3	R4	R5	R6	
事業費	予 算 額	813	813	813	813
	決 算 額	0	604	813	813
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	0.0%	74.3%	100.0%	100.0%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	0	604	813	813
事業の成果	喜多小学校を起点として若宮堤防上を折り返す周回コースで開催した。参加者の相互交流を深めるとともに、市民の健康づくり・体力づくりに対する意識高揚及び活性化を図ることができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	参加者が減少傾向にあることから、長浜～大洲間のコースに戻すか、魅力ある新コースで開催するか、検討する必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	スポーツ振興課	係 名	スポーツ推進係	年度	R6
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	3 スポーツの振興と健康・体力づくりの推進				
主 要 施 策	2 スポーツイベントの充実と開催				
事 業 名	43 大洲市健康マラソン大会				
目 的	市民の日常的な運動習慣の促進、体力の向上及び健康の増進を図り、明るく豊かな市民生活の実現を目指す。				
事業実施状況	<p>○大洲市健康マラソン大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日時 令和7年2月23日 午前9時20分～ ・コース 若宮堤防折り返しコース (喜多小学校⇄防災センター) ・参加者 281人 				
事業年度	R3	R4	R5	R6	
事業費	予 算 額	899	899	899	899
	決 算 額	0	899	533	899
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	0.0%	100.0%	59.3%	100.0%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	0	899	533	899
事業の成果	喜多小学校を起点として若宮堤防上を折り返す周回コースで開催した。安全・安心な大会運営により、市民一人一人が達成感と楽しさを感じる大会となった。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	参加者がより積極的に参加したくなる魅力ある競技内容等を検討していく必要がある。また、年々従事者が減少しているため、運営方法の見直しが必要である。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	スポーツ振興課		係 名	スポーツ推進係		年度	R6	
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興							
基 本 方 針	3 スポーツの振興と健康・体力づくりの推進							
主 要 施 策	3 地域スポーツの推進							
事 業 名	44 各地区スポーツ・レクリエーション活動充実事業							
目 的	生涯スポーツ事業の推進と、余暇を活用したレクリエーション活動の振興を図る。また、スポーツ行事やレクリエーション活動などにより、地域住民の健康・体力づくりと親睦を深める機会の提供を行う。							
事業実施状況	各地区におけるスポーツ行事やレクリエーション活動等について、地域スポーツ協会、スポーツ推進委員と連携して、誰もが気軽に参加でき楽しめる様々な活動を行い、地域住民の健康・体力づくりと親睦を深める機会の提供、体制づくりに努めた。							
	○各地区のスポーツ行事実施状況							
	イベント			実施回数				
	レクリエーションバレーボール大会			14				
	ゲートボール大会			1				
	クロッケー大会			2				
	グラウンドゴルフ大会			2				
	運動会（スポーツ大会）			6				
	ソフトボール大会			7				
	マラソン・ウォーキング大会			9				
モルック大会			4					
事業年度	R3		R4		R5		R6	
事業費	予 算 額	1,679		1,991		1,565		988
	決 算 額	724		1,000		743		569
	繰 越 額	0		0		0		0
	執 行 率	43.1%		50.2%		47.5%		57.6%
事業区分	市単独事業		市単独事業		市単独事業		市単独事業	
財 源	国庫補助金	0		0		0		0
	県補助金	0		0		0		0
	地方債	0		0		0		0
	その他特財	0		0		0		0
	一般財源	724		1,000		743		569
事業の成果	市民の健康・体力づくり、参加者間の交流、地域連帯の意識の高揚等により、地域コミュニティの活性化を図った。							
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○				
課題・問題点	地域のスポーツ行事は、参加者の高齢化、参加者の固定化等が懸念されていることから、少人数や高齢者等でも楽しめる種目や教室等の情報提供・発信が必要である。							

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	スポーツ振興課	係 名	スポーツ推進係	年度	R6
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	3 スポーツの振興と健康・体力づくりの推進				
主 要 施 策	3 地域スポーツの推進				
事 業 名	45 スポーツ推進委員育成事業				
目 的	スポーツ推進委員の資質向上と相互交流を推進するため、各種研修会などへの参加、各種スポーツイベント協力、各地区スポーツ・レクリエーション活動の推進を図る。				
事業実施状況	<p>スポーツ推進委員は、スポーツ基本法に基づき設置されるもので、本市では28人に委嘱しており、地域におけるスポーツ活動の振興のため、市民に対するスポーツの普及・啓発、指導・助言のほか、各種スポーツ大会に係る連絡調整を行っている。</p> <p>1 各種研修会等への参加 (1)大洲市スポーツ推進委員会総会 (5月8日 17人) (2)愛媛県スポーツ推進委員協議会総会 (5月25日 3人) (3)地区別スポーツ推進委員等研修会 (6月15日 10人) (4)四国地区スポーツ推進委員研修会 (1月18、19日 3人)</p> <p>2 各種スポーツイベントの協力 (1)大洲市カヌーツーリング駅伝大会 (8月18日 7人) (2)大洲市駅伝大会 (11月24日 9人) (3)大洲市健康マラソン大会 (2月23日 5人)</p>				
事業年度	R3	R4	R5	R6	
事業費	予 算 額	1,647	1,354	1,639	1,026
	決 算 額	1,293	1,259	1,297	928
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	78.5%	93.0%	79.1%	90.4%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	1,293	1,259	1,297	928
事業の成果	愛媛県、関連団体が主催する研修会等への参加、大洲市のイベントへの協力を含め、地域が実施するスポーツイベントへの連携・協力等に積極的に参加し、スポーツの推進を図ることができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	スポーツ推進委員が、地域スポーツにより関わりやすくなるよう住民に対して制度の周知を行うとともに、自治会、地域スポーツ協会等と連携・協力し、地域での活躍の場の整備を図っていく必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	スポーツ振興課		係 名	スポーツ推進係		年度	R6
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興						
基 本 方 針	3 スポーツの振興と健康・体力づくりの推進						
主 要 施 策	3 地域スポーツの推進						
事 業 名	46 体育施設活用事業						
目 的	社会体育を通じて地域コミュニティづくりを推進するとともに、学校体育施設、社会体育施設等の利用促進を図る。						
事業実施状況	1 学校体育施設の利用状況						
	(1) 屋内運動場			(2) 屋外運動場			
	大洲地域	15校	68,600人	大洲地域	14校	33,200人	
	長浜地域	2校	4,419人	長浜地域	2校	2,810人	
	肱川地域	2校	881人	肱川地域	2校	0人	
	河辺地域	1校	0人	河辺地域	2校	204人	
	計	20校	73,900人	計	20校	36,214人	
	2 社会体育施設の利用状況						
	(1) 体育館(総合体育館除く)			(2) 屋外施設			
	大洲地域	5施設	12,561人	大洲地域	10施設	80,546人	
長浜地域	9施設	31,171人	長浜地域	9施設	9,975人		
肱川地域	4施設	4,514人	肱川地域	8施設	6,398人		
河辺地域	1施設	134人	河辺地域	3施設	766人		
計	19施設	48,380人	計	30施設	97,685人		
3 えひめ施設利用予約システムの導入							
行政サービスのDX推進の一環として、公共施設の予約手続きがオンラインで可能となる「えひめ施設利用予約システム」を導入し、業務負担の軽減、管理の効率化、利用率の向上を図った。							
事業年度		R3		R4		R5	R6
事業費	予 算 額	1,837		1,325		1,056	1,176
	決 算 額	1,186		1,174		876	1,176
	繰 越 額	0		0		0	0
	執 行 率	64.6%		88.6%		83.0%	100.0%
事業区分		市単独事業		市単独事業		市単独事業	市単独事業
財 源	国庫補助金	0		0		0	0
	県補助金	0		0		0	0
	地方債	0		0		0	0
	その他特財	0		0		0	0
	一般財源	1,186		1,174		876	1,176
事業の成果		アフターコロナ期において、スポーツ施設の利用状況はまだ完全回復とは言えないが、令和5年度比で利用人数が約10%増加した。特に社会体育施設において、徐々に利用者が増加してきており、令和7年2月に導入した予約システムを活用し、利用率の向上が期待される。					
自己評価		所 属 長	○	担 当 者	○		
課題・問題点		老朽化等により施設の使用に支障がある施設は、利用状況等から優先順位を決め、安全・安心に利用できるよう改修・修繕を実施する必要がある。 雨漏り等の修繕で多額の費用を要する場合は、施設の在り方、存続も含め検討する必要がある。					

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	スポーツ振興課	係 名	スポーツ推進係	年度	R6
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	3 スポーツの振興と健康・体力づくりの推進				
主 要 施 策	3 地域スポーツの推進				
事 業 名	47 地域スポーツクラブ活動体制整備事業				
目 的	「大洲市部活動地域移行推進計画」に基づき、地域スポーツクラブの育成や休日部活動の段階的な地域展開を推進する。				
事業実施状況	休日の部活動地域展開に向けて、協議、検証等を行った。 1 地域スポーツクラブ体制整備事業（国の委託事業）を活用した実証事業の実施 【休日部活動の地域展開】 ・カヌー 計97回（345人参加） ・軟式野球 計5回（27人参加） ・サッカー 計5回（79人参加） 2 地域実情に応じた地域展開の進め方を検討 ・部活動地域移行検討班会の実施（1回） ・地域部活動推進協議会の設置・開催（3回） 3 大洲市部活動地域移行推進計画の推進及び見直し ・大洲市立小中学校教職員アンケート実施 ・国の方針の方向性を注視				
事業年度		R4	R5	R6	
事業費	予 算 額	0	1,731	2,279	
	決 算 額	0	1,089	1,012	
	繰 越 額	0	0	0	
	執 行 率		62.9%	44.4%	
事業区分		市単独事業	補助事業	補助事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	
	県補助金	0	903	912	
	地 方 債	0	0	0	
	その他特財	0	0	0	
	一 般 財 源	0	186	100	
事業の成果	国の動向に注視しつつ、部活動の地域展開と地域スポーツ環境の一体的な整備に向けた取組を行い、実証事業において、課題等を洗い出し、想定される懸念事項について検討班会や推進協議会で協議、検証した。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	生徒の安全性の確保、指導者、生徒の移動、大会の在り方、受益者負担等について課題は多く、実証事業（国の委託事業）を行いながら検証、洗い出しをしていく必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	スポーツ振興課	係 名	スポーツ推進係	年度	R6
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	3 スポーツの振興と健康・体力づくりの推進				
主 要 施 策	4 スポーツ関係団体の育成				
事 業 名	48 スポーツ協会活動事業				
目 的	スポーツ関係団体の指導・育成に努めるとともに、競技スポーツと市民スポーツの中核を担う大洲市スポーツ協会の組織強化及び活動の充実を図ることにより、市民がスポーツを楽しむ機会の拡充と技術力の向上を図り、健康で明るい市民生活を創出する。				
事業実施状況	<p>大洲市スポーツ協会の活動を支援し的確な指導を行うことにより、協会に加盟している競技団体の競技力の向上を図っている。また、スポーツ祭、駅伝大会、健康マラソン大会など市民がスポーツに親しむ機会を提供し、健康増進とスポーツの普及振興を図っている。</p> <p>1 スポーツ協会の構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・種目別スポーツ団体 24部 ・地域スポーツ団体 19団体 ・学校体育団体、賛助会員 <p>2 スポーツ協会の活動状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大洲市スポーツ祭 令和6年10月～令和6年12月 14種目 約1,000人参加 ・大洲市地域スポーツ協会対抗レクリエーションバレーボール大会 令和6年10月6日 17チーム 236人が参加 ・大洲市駅伝大会 令和6年11月24日 ・大洲市健康マラソン大会 令和7年2月23日 				
事業年度	R3	R4	R5	R6	
事業費	予算額	5,570	5,744	5,889	6,711
	決算額	5,570	5,744	5,889	6,711
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	5,570	5,744	5,889	6,711
事業の成果	大洲市スポーツ協会主催の大洲市スポーツ祭は、14種目部で約1,000人の参加を得て開催し、市民スポーツの機会を提供すると共に、競技力の向上と明るい市民生活の実現を創出できた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	大洲市スポーツ協会が本市のスポーツ振興の核組織となれるよう、更なる組織強化を図り、各競技団体やスポーツ推進委員と連携して活動の充実を促していく必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	スポーツ振興課	係 名	スポーツ推進係	年度	R6
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	3 スポーツの振興と健康・体力づくりの推進				
主 要 施 策	4 スポーツ関係団体の育成				
事 業 名	49 スポーツ少年団等活動事業				
目 的	青少年スポーツの普及と指導者の育成及び活動の活発化を図るとともに、各種スポーツ大会を開催する。				
事業実施状況	○スポーツ少年団活動事業 (桧山教育振興会助成事業) (1)団 数 26団 (2)団 員 数 378人(男227人、女151人) (3)指導者数 55人(男45人、女10人) (うち認定指導員数 55人) (4)種目 ソフトボール、サッカー、ミニバス、剣道、 バレーボール、水泳、軟式野球 (5)大会 ソフトボール：3回 サッカー ：1回 ミニバス ：2回 剣道 ：2回 バレーボール：1回				
事業年度	R3	R4	R5	R6	
事業費	予 算 額	546	546	546	546
	決 算 額	267	546	546	546
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	48.9%	100.0%	100.0%	100.0%
事業区分	その他	その他	その他	その他	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	200	200	200
	一般財源	267	346	346	346
事業の成果	団員数の減少等、様々な実情を踏まえながら大会を企画・運営し、青少年のスポーツ活動の機会を保障することができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	スポーツ少年団は、全国的な課題として、団員数の減少や指導者が確保できないなどがあり、本市も同様である。従来の方法にとらわれず、多くの団員が大会に参加できるよう、大会の開催方法等について検討していく必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	スポーツ振興課	係 名	スポーツ推進係	年度	R6
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	3 スポーツの振興と健康・体力づくりの推進				
主 要 施 策	5 プロスポーツを活用した地域振興				
事 業 名	50 愛媛FC・FC今治・愛媛マンダリンパイレーツ・愛媛オレンジバイキングス等を通じた地域密着型活動支援事業				
目 的	プロスポーツを通じた地域密着型活動の支援等を行うことにより、地域の一体感の醸成を図るとともに地域活性化を促進する。				
事業実施状況	<p>愛媛FC、愛媛マンダリンパイレーツ、愛媛オレンジバイキングスのそれぞれの公式戦において、観光パンフレット、特産品の配布・抽選会等を実施し、本市の情報を発信して地域振興の活性化を図った。</p> <p>1 愛媛FC公式戦 大洲市「マッチシティ」 (1) 日時 令和6年9月21日(土) 対 モンテディオ山形 (2) 場所 ニンジニアスタジアム (3) 観客 7,873人</p> <p>2 愛媛マンダリンパイレーツ公式戦 (1) 日時 令和6年9月16日(月) 対 徳島インディゴソックス (2) 場所 八幡浜・大洲地区運動公園野球場 (3) 観客 488人</p> <p>3 愛媛オレンジバイキングス公式戦 マッチシティ大洲市の日 (1) 日時 令和7年2月8日(土) 対 熊本ヴォルターズ (2) 場所 松山市総合コミュニティセンター (3) 観客 1,812人</p> <p>4 愛媛県プロスポーツ地域振興協議会事業への参加 PRIDE OF 中四国 令和6年9月14日(土) 愛媛FC 対 ファジアーノ岡山 (シティライトスタジアム：岡山市)</p>				
事業年度	R3	R4	R5	R6	
事業費	予算額	507	507	507	507
	決算額	98	507	507	507
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	19.3%	100.0%	100.0%	100.0%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	98	507	507	507
事業の成果	<p>例年開催している愛媛FCマッチシティと愛媛MP公式戦に加えて、新たに愛媛オレンジバイキングスの市民の日が設定された。また、バスケットクリニックや「PRIDE OF 中四国」なども展開することができ、地域の活性化に貢献することができた。</p>				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	<p>愛媛FC、愛媛マンダリンパイレーツ、愛媛オレンジバイキングス、FC今治のファン層の拡大を図るため、積極的に公式戦の誘致を図り、市民と選手が交流する機会を増やす必要がある。</p>				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名		スポーツ振興課	係 名	スポーツ推進係	年度	R6
基 本 目 標		2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針		3 スポーツの振興と健康・体力づくりの推進				
主 要 施 策		6 スポーツを通じた交流の促進				
事 業 名		51 オンラインスポーツ推進事業				
目 的		市全体を運動の場として、いつでも取り組むことができるオンラインスポーツの普及を図り、市民の健康増進及び健康寿命の延伸につなげていく。				
事業実施状況		1 大洲市民向けウォークイベント「秋のOZU健康ウォーク」 (1) 日 時 令和6年11月1日～令和6年11月20日 (2) 参加者 107名 2 大洲市民向けウォークイベント「冬のOZU健康ウォーク」 (1) 日 時 令和7年2月1日～令和7年2月20日 (2) 参加者 99名				
事業年度		R3	R4	R5	R6	
事業費	予 算 額	2,300	1,194	1,440	1,320	
	決 算 額	2,206	694	1,440	1,320	
	繰 越 額	0	0	0	0	
	執 行 率	95.9%	58.1%	100.0%	100.0%	
事業区分		その他	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0	
	県補助金	0	94	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
	その他特財	0	0	0	0	
	一般財源	2,206	600	1,440	1,320	
事業の成果		大洲市独自のオンラインウォークイベントを2回開催することができた。大洲市内のアプリ登録者と歩数を競い合い、上位入賞者に対しては大洲ええモンセレクションなどが当たる懸賞企画を盛り込み、魅力ある事業となるよう努めた。				
自己評価		所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点		参加者数が伸び悩み、参加者が固定化してきているため、アプリの普及と合わせて、本事業の魅力を市民に対して分かりやすく発信していく必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	スポーツ振興課	係 名	スポーツ推進係	年度	R6
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	3 スポーツの振興と健康・体力づくりの推進				
主 要 施 策	6 スポーツを通じた交流の促進				
事 業 名	52 日本スポーツマスターズ2025事業				
目 的	令和7年9月にシニア世代の総合スポーツ大会である「日本スポーツマスターズ2025」が愛媛県域で開催され、本市は、総合体育館が「バスケットボール男子」の会場となることから、円滑な運営に努めるとともに、全国から参加する選手等に対し、おもてなしサービスや観光PRを行う。				
事業実施状況	<p>円滑な運営、準備を行うため、令和6年度の開催県である長崎県の視察を行った。</p> <p>1 日本スポーツマスターズ2024長崎大会 (1) 場所 男子バスケットボール会場 長崎県立総合体育館（長崎市） 大村市体育文化センター（大村市） (2) 期間 令和6年9月27日～29日</p>				
事業年度				R6	
事業費	予 算 額				140
	決 算 額				108
	繰 越 額				0
	執 行 率				77.1%
事業区分				その他	
財 源	国庫補助金				0
	県補助金				0
	地方債				0
	その他特財				0
	一般財源				108
事業の成果	総合体育館で開催される「男子バスケットボール」の円滑な運営、全国から参加される選手等に対するおもてなしの実施にかかる経費、体制について、視察により明確となったことから予算措置等を行った。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	参加チーム数が確定し、組合せ、試合数の決定が開催日程の直前となることから、情報を共有・精査し、愛媛県と連携強化を図りながら、準備を進めていく。住民への周知方法を検討し、理解と参加を促していく。				

基本方針 6 スポーツの振興と健康・体力づくりの推進

【外部評価委員意見】

- 大洲市カヌーツーリング駅伝大会について、参加チーム及び参加者が増加していることから、カヌーを通して、身近な肱川という自然に親しみを感じられる大会になっている。今後もカヌー競技や肱川の魅力を発信するとともに、川での安全な活動など考えを深める大会にしてほしい。
- 部活動の地域展開について、少子化の影響から、生徒数の減少、単独では試合に出られない部活動、指導者の確保など、様々な課題を解決しなければ活動は維持できない状況と認識している。各中学校の実情を踏まえ、今後、地域部活動推進協議会等において検討し、生徒たちがスポーツ・文化活動に取り組むことができる環境整備を期待している。
- 大洲市駅伝大会について、現在、周回コースのリレーマラソンになっている。新コースを検討するなど競技内容を検討し、更に魅力ある大会にしてほしい。

基本方針 7 社会総がかりで取り組む教育環境づくり

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化振興課	係 名	青少年育成係	年度	R6
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	1 社会総がかりで取り組む教育環境づくり				
主 要 施 策	1 青少年健全育成事業の推進				
事 業 名	53 学校・家庭・地域連携推進事業				
目 的	家庭や地域の教育力が低下していることから、未来を担う子供たちを健やかに育むため、学校や家庭及び地域住民等がそれぞれの役割と責任を自覚し、地域全体で教育に取り組むことを目的として実施する。				
事業実施状況	<p>学校・家庭・地域が連携・協働し、地域住民等の参画による地域の実情に応じた取組を有機的に組み合わせ様々な教育支援活動を実施した。</p> <p>1 地域学校協働活動 全13本部</p> <p>「ふるさと学習を軸とし、系統性を重視した各校区の小中一貫教育の推進」の支援</p> <p>(1)平野小・中学校地域学校協働本部 (2)河辺小学校地域学校協働本部 (3)肱川小・中学校地域学校協働本部 (4)新谷小・中学校地域学校協働本部 (5)栗津小・三善小・大洲東中学校地域学校協働本部 (6)菅田小・肱東中学校地域学校協働本部 (7)長浜小・中学校地域学校協働本部 (8)大洲北中学校地域学校協働本部 (R4.5～) (9)喜多小学校地域学校協働活動本部 (R4.9～) (10)大洲南中学校地域学校協働活動本部 (R4.12～) (11)大洲小学校地域学校協働活動本部 (R5.2～) (12)平小学校地域学校協働活動本部 (R5.3～) (13)久米小学校地域学校協働活動本部 (R5.3～)</p> <p>2 放課後子ども教室</p> <p>(1)上須戒 放課後子ども教室(喜多小学校区上須戒地区)読み聞かせ、食育、防災訓練ほか (2)平野 放課後子ども教室(平野小学校区)俳句、バランスボール、音楽ほか (3)白滝 放課後子ども教室(長浜小学校区)休止 (4)河辺 放課後子ども教室(河辺小学校区)読み聞かせ、俳句ほか</p> <p>3 家庭教育支援(チーム活動)</p> <p>大洲子育てサポート「そよ風」による家庭教育支援活動</p> <p>(1)活動日数 182日(月、火、木、金曜日) (2)相談対応 70件(電話・来所・家庭訪問・事業所訪問) (3)啓発活動 ①情報紙「そよ風通信」配布 年11回(毎回4,500枚) ②子育て広場、学習会 20回</p> <p>4 えひめ未来塾</p> <p>ひらの未来塾による地元の小・中学生への学習支援活動</p> <p>(1)活動日数 11日間(夏期休業中) (2)参加延人数 小学生312人、中学生53人、支援員等:11人、ボランティア:50人</p>				
事業年度	R3	R4	R5	R6	
事業費	予 算 額	11,330	18,879	19,168	18,117
	決 算 額	7,024	9,216	12,210	10,988
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	62.0%	48.8%	63.7%	60.7%
事業区分	補助事業	補助事業	補助事業	補助事業	
財 源	国庫補助金	1,995	3,042	3,658	3,638
	県補助金	1,994	3,041	3,657	3,638
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	3,035	3,133	4,895	3,712
事業の成果	<p>全13地域学校協働活動本部の設置が完了している。</p> <p>放課後子ども教室は、4教室の実施予定であったが、長浜小学校区が休止となった。</p> <p>家庭教育支援の「大洲子育てサポート「そよ風」」独自のホームページを構築し、利用者への周知と相談予約の利便性を図ることができた。令和4年度から実施しているひらの未来塾を令和6年度も開設し、学習支援を行う取組ができた。</p>				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	地域コーディネーターが頑張りがすぎず、継続して事業を実施してもらうために、研修会や意見交換会等の開催に取り組んでいく必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化振興課	係 名	青少年センター	年度	R6
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	1 社会総がかりで取り組む教育環境づくり				
主 要 施 策	1 青少年健全育成事業の推進				
事 業 名	54 市PTA連合会による家庭教育・青少年健全育成事業への支援				
目 的	子供の生活習慣の乱れやいじめ、犯罪の未然防止を目的として「小中学生のスマートフォン使用に関する市内統一ルール」の普及に努める。				
事業実施状況	<p>「小中学生のスマートフォン使用に関する市内統一ルール」を遵守してもらうため、家庭内のよく見える場所にルールを掲示することを啓発するとともに、市の施設への懸垂幕掲示や市PTA連合会委員会活動を利用した啓発活動を実施した。</p> <p>1 各小中学校への市内統一ルールの啓発 各種会議等での、市内統一ルールの啓発 保護者への啓発資料としてリーフレットを作成し配布</p> <p>2 懸垂幕設置 (1)期間 令和7年2月1日～3月31日 (2)場所 市役所本庁舎、コミュニティセンター、小中学校</p> <p>3 スマートフォン等利用に関するアンケート調査 (1)時 期 令和7年2月実施 (2)対 象 小学5年生、中学2年生の保護者 (3)「PTAおおず」でアンケート結果の掲載</p>				
事業年度	R3	R4	R5	R6	
事業費	予 算 額	0	0	0	0
	決 算 額	0	0	0	0
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
事業区分	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0
事業の成果	<p>大洲市PTA連合会が行う、「小中学生のスマートフォン使用に関する市内統一ルール」の普及を図るため、家庭への啓発資料としてリーフレットを作成し配布した。</p> <p>また、「PTAおおず」において、「スマートフォン等利用に関するアンケート調査」の結果を配布し、保護者等が現状を把握できるよう努めた。</p>				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	<p>スマートフォンやタブレット機器、ゲーム機の普及や、近年のコロナ禍により、子供たちが通信機器等に触れる時間が増えたため、各家庭でのルール作りが今まで以上に重要になってくることから、より一層の啓発活動が必要である。</p> <p>また、「スマートフォン等利用に関するアンケート調査」から市内統一ルールの普及は成果であるが、それが守れているかについては引き続き課題が残る。</p>				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化振興課	係 名	青少年センター	年度	R6
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	1 社会総がかりで取り組む教育環境づくり				
主 要 施 策	1 青少年健全育成事業の推進				
事 業 名	55 「家族の出番です」通信講座事業				
目 的	生涯学習機会の拡充及び家庭教育の深化を図る。				
事業実施状況	<p>主に小中学校の保護者を対象に通信講座「家族の出番です」の通信紙を配布するとともに、関連事業として実施している講演会に案内し、スクーリングとした。</p> <p>1 運営委員会（運営委員9人） (1)定例会 令和6年 第1回運営委員会【書面決議】 令和7年 第2回運営委員会【書面決議】</p> <p>2 通信講座 (1)発行回数 通信紙年3回発行 (2)配布先 小中学校の保護者、教職員、行政、関係諸団体等 (3)配布部数 3,000部</p>				
事業年度	R3	R4	R5	R6	
事業費	予 算 額	471	453	347	349
	決 算 額	253	285	303	283
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	53.7%	62.9%	87.3%	81.1%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	253	285	303	283
事業の成果	実施計画どおりに通信紙を発行し、子育ての貴重な時期における親子の触れ合いの一助とすることができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	親子の触れ合いや家庭教育の充実を図るために、今後も執筆者の選定をはじめ、より一層の紙面の充実に努めたい。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化振興課	係 名	青少年センター	年度	R6
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	1 社会総がかりで取り組む教育環境づくり				
主 要 施 策	1 青少年健全育成事業の推進				
事 業 名	56 青少年センター運営事業				
目 的	少年問題を取り扱う関係機関・団体等と緊密な連携を図り、少年補導委員の協力を得て、少年に対する生活指導及び補導活動を総合的かつ効率的に行い、少年の健全育成に寄与する。				
事業実施状況	<p>少年補導委員（90人）による巡回指導や青色防犯パトロール車（通称：青パト）をはじめとする地域の見守り活動の活性化を図り、地域ぐるみの学校安全体制の整備や危機管理に努めた。また、学校・地域・PTA等の人材の育成とともに、家庭・学校・地域・諸機関との連携強化を図るため、青少年健全育成推進大会・各地区青少年健全育成推進協議会等の充実に取り組んだ。</p> <p>1 街頭補導 (1)巡回指導 約545回(延べ1,395人) (2)青パト活動 299回 夜間合同パトロール：令和6年7月1日（月） 令和6年12月2日（月）</p> <p>2 少年補導委員会 (1)総 会 令和6年4月18日（木） (2)理事会 令和6年9月19日（木） 令和7年2月13日（木）</p> <p>3 青少年健全育成推進協議会 (1)協議会 令和6年5月17日（金） (2)大 会 令和6年7月 6日（土）</p>				
事業年度	R3	R4	R5	R6	
事業費	予 算 額	4,789	4,823	4,978	5,875
	決 算 額	3,743	3,913	4,224	4,909
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	78.2%	81.1%	84.9%	83.6%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	3,743	3,913	4,224	4,909
事業の成果	少年問題を取り扱う関係機関や団体等と緊密な連携を図るとともに、少年補導委員の地道な活動により、青少年の健全育成に取り組むことができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	少年補導委員の高齢化やなり手不足などから、人材確保と従来の地区別人員について検討を行う必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化振興課	係 名	青少年育成係	年度	R6
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	1 社会総がかりで取り組む教育環境づくり				
主 要 施 策	2 子供読書活動の推進				
事 業 名	57 第3次大洲市子供読書活動推進計画に基づく施策の実施				
目 的	あらゆる機会と場所において読書に親しむ習慣を確立するとともに、自主的に読書活動を行うことができるよう、子供や家庭、学校等、地域社会に対する働きかけや環境づくりの施策を推進する。				
事業実施状況	<p>令和5年度からの5年間の推進施策と取組方針をまとめた「第3次大洲市子供読書活動推進計画」の計画に基づき、関係組織（市立図書館・学校等（保育所・幼稚園含む）・PTA・ボランティア団体）による取組を行った。</p> <p>1 「第3次大洲市子供読書活動推進計画」の推進 (1) 策定年月 令和5年5月 (2) 計画期間 令和5年5月～令和10年3月</p> <p>2 不読率アンケート調査(毎年)の実施 (1) 実施時期 令和6年6月 (2) 実施内容 設問：1か月に何冊くらい本を読みましたか。 対象：小学生(全学年)、中学生(全学年) 保育所・こども園(5歳児)、幼稚園(5歳児) (3) 結 果 不読率：小学生1.9%、中学生5.9%、就学前10.2% ※不読率は全体としては大きな変化はないが、中学生がやや向上し、就学前ではやや低下が見られた。家庭での読み聞かせの機会がやや減少傾向にある。</p> <p>3 大洲市子供読書活動推進委員会の開催 第1回：令和6年8月6日(火) 第2回：令和7年3月11日(火)</p> <p>4 ブックスタート事業 (1) 実施時期 毎月1回(10か月児育児相談時) (2) 対 象 者 176人 (3) 配 布 率 96.6%(170名) ※令和7年3月31日現在</p>				
事業年度	R3	R4	R5	R6	
事業費	予 算 額	53	52	52	52
	決 算 額	0	21	21	37
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	0.0%	40.4%	40.4%	71.2%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	0	21	21	37
事業の成果	不読率等アンケート調査」を毎年6月に実施することにより、子供たちの読書の状況を把握し、改善方法をさぐる材料を得ることができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	アンケート調査の結果及び「第3次大洲市子供読書活動推進計画」に基づき、不読率を改善していく取組を推進する必要がある。				

基本方針７ 社会総がかりで取り組む教育環境づくり

【外部評価委員意見】

- ひらの未来塾の活動について、ボランティア団体や帰省した大学生などにより、このような取組が夏休みの間各地区でも実施できたらよいという意見が地元から出ていた。国や県の補助があるみたいなので検討願いたい。

基本方針 8 子供と向き合う教育環境づくり

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R6
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	2 子供と向き合う教育環境づくり				
主 要 施 策	1 相談体制の充実				
事 業 名	58 スクールソーシャルワーカー活用事業				
目 的	いじめ、不登校、暴力行為、児童虐待など児童生徒の問題行動等に対応するため、社会福祉等の専門的な知識・技術を用いて児童生徒や保護者等の相談に応じたり、関係福祉機関等とのネットワークを活用して問題を抱える児童生徒に支援を行う。				
事業実施状況	<p>1 巡回型としてスクールソーシャルワーカー1名を大洲市教育委員会に設置し、市内全小中学校の問題解決に対応する。</p> <p>2 教職員以外の立場として、専門的な知見を持つスクールソーシャルワーカーが問題解決への対応を図る。</p> <p>3 スクールソーシャルワーカーから教職員に対して、児童生徒が置かれている多種多様な環境への対応方針等を指導・助言する。</p> <p>4 地域や関係機関との密接な連携体制を構築する。</p> <p>5 スクールソーシャルワーカーの主な職歴 元教諭、心理療法士、メンタルヘルス運動指導士</p> <p>6 令和6年度勤務実績 年間勤務日数 61日 年間勤務時間 360時間（時給1,255円）</p>				
事業年度	R3	R4	R5	R6	
事業費	予 算 額	482	444	479	538
	決 算 額	412	416	441	503
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	85.5%	93.7%	92.1%	93.5%
事業区分	補助事業	補助事業	補助事業	補助事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	220	220	220	220
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	192	196	221	283
事業の成果	保護者との面談の機会を多く持ち、学校（教員）と児童の関係性を保ちつつ、保護者自身が抱えている問題にも耳を傾けることで、保護者と学校（教員）との意見や考え方の違いやずれについて軌道修正を行うことができ、互いに協力しながら問題の解決に当たることができている。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	令和3年度より拠点校型から全小中学校を訪問する巡回型へと変更を行い、現時点では問題ないが、1人の配置であることからきめ細かな対応が必要な事案が多く発生した場合、対応困難になることが想定される。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R6
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	2 子供と向き合う教育環境づくり				
主 要 施 策	1 相談体制の充実				
事 業 名	59 ハートなんでも相談員設置事業				
目 的	生徒指導の充実と安全・安心な学校づくりを推進する。 小・中学校に児童生徒、保護者、教員等に対して相談活動を行うハートなんでも相談員を設置することにより、問題行動、不登校等の未然防止並びに早期の発見及び解決を図る。				
事業実施状況	<p>1 活動内容</p> <p>(1) 生徒、保護者、教員等からの相談に関すること</p> <p>(2) 地域と学校の連携を図るための支援に関すること</p> <p>(3) 教育活動への支援に関すること</p> <p>2 令和6年度より1名増員し、計4人のハートなんでも相談員を配置している。</p> <p>3 ハートなんでも相談員の主な職歴</p> <p>(1) 喜多小相談員 元学校支援員</p> <p>(2) 菅田小相談員 元幼稚園教諭</p> <p>(3) 平 小相談員 元小学校教諭</p> <p>(4) 肱川小(中)相談員 内子高校スクールライフアドバイザー</p> <p>4 勤務日数 70日／年、280時間（4h／日、1,000円／h）</p>				
事業年度	R3	R4	R5	R6	
事業費	予 算 額	970	967	972	1,355
	決 算 額	965	966	972	1,303
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	99.5%	99.9%	100.0%	96.2%
事業区分	補助事業	補助事業	補助事業	補助事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	279	279	279	372
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	686	687	693	931
事業の成果	<p>学校行事に積極的に参加して配慮を要する児童生徒に関わることで、人間関係や児童生徒理解を深めることができ、少しずつ問題の改善に向かっている。</p> <p>相談を受けている児童生徒や保護者について、養護教諭と円滑に情報交換をしていくことで、相談活動の成果を上げることができている。</p>				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	今後も学校と相談員との情報共有を的確に行い、相談活動の充実を図ることが必要である。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R6
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	2 子供と向き合う教育環境づくり				
主 要 施 策	1 相談体制の充実				
事 業 名	60 スクールカウンセラー活用事業				
目 的	小中学校に、児童生徒の臨床心理に関して高度に専門的な知識及び経験を有する者を配置し、教育相談体制の充実を図る。				
事業実施状況	<p>1 児童生徒の臨床心理に関して高度に専門的な知識及び経験を有するスクールカウンセラー等を、中学校区程度の地域を一単位として、その域内にある中学校を拠点校とし、域内の小学校や近隣の小学校を対象校として配置することにより、教育相談体制の充実を図る。</p> <p>2 令和6年度スクールカウンセラー等配置校一覧 (1) 大洲北中学校（喜多小学校・平小学校）SC (2) 大洲南中学校（大洲小学校・久米小学校）SC (3) 平野中学校（平野小学校）準SC (4) 長浜中学校（長浜小学校）SC (5) 大洲東中学校（三善小学校・粟津小学校）SC (6) 肱東中学校（菅田小学校）SC (7) 新谷中学校（新谷小学校）SC (8) 肱川中学校（肱川小学校）SC ※各中学校は拠点校、かつこ内は接続校</p> <p>3 勤務日数 39日／年</p> <p>4 追加派遣 ・河辺小学校 2日 ※河辺小学校はスクールカウンセラーの拠点校に接続していないため、学校からの要請により追加派遣が行われた。</p>				
事業年度	R3	R4	R5	R6	
事業費	予 算 額	0	0	0	0
	決 算 額	0	0	0	0
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
事業区分	その他	その他	その他	その他	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0
事業の成果	<p>教職員へのコンサルテーションの充実により、児童生徒に対する心理的理解がより深まり、指導・支援の幅が広がった。</p> <p>専門的な立場から、問題行動の解決に向けて具体的なアプローチを行うことでスムーズな対応でき、問題や悩みを持つ児童生徒や保護者に対して、学校全体で情報を共有し支援を行うことができた。</p>				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	<p>接続校である小学校への相談業務も徐々に浸透しているが、接続校への勤務が一度もない地域もあり、より一層小中学校で連携が図れるよう周知・啓発を行っていく必要がある。</p>				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R6
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	2 子供と向き合う教育環境づくり				
主 要 施 策	1 相談体制の充実				
事 業 名	61 教職員メンタルヘルス・個別相談事業				
目 的	児童生徒の多様化・複雑化する課題への対応、また教職員の担当業務増大による心身の疲労から、メンタル面で不調を来す者が出ている現状を踏まえ、心理療法士を各学校へ派遣して個別相談事業、メンタルヘルスに関する研修会を実施する。				
事業実施状況	1 対象 小・中学校教職員 2 配置 心理療法士 1人 3 事業実施形態 各学校へ派遣し、メンタルヘルス上、配慮の必要な教員と面談を行ったり、職員会議等で講義を行ったりした。 4 訪問実績 4月：4回（10校） 5月：5回（13校） 6月：4回（10校） 7月：6回（15校） 8月：4回（10校） 9月：4回（11校） 10月：5回（12校） 11月：5回（15校） 12月：7回（19校） 1月：4回（12校） 2月：6回（17校） 3月：5回（15校） 59回				
事業年度	R3	R4	R5	R6	
事業費	予算額	720	720	720	720
	決算額	684	648	684	708
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	95.0%	90.0%	95.0%	98.3%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	684	648	684	708
事業の成果	月初めに訪問予定校を計画しているが、急な相談依頼があった場合は、計画とは別に訪問日を設け、本人へのカウンセリングや、校長や養護教諭等に対応の仕方についてアドバイスを行うなど、臨機応変に対応することができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	心身共に健康な教職員を増やすため、更にメンタルヘルスケア対策の充実を図ることが必要である。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R6
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	2 子供と向き合う教育環境づくり				
主 要 施 策	2 不登校への対応				
事 業 名	62 おおずふれあいスクール運営事業				
目 的	不登校対応施設として、大洲青少年交流の家に「おおずふれあいスクール」を設置し、心の居場所の提供に努めるとともに、学校復帰や社会的自立への支援を行う。				
事業実施状況	<p>通所生が伸び伸びとさまざまな活動をする中で、自己を表現したり、自己の存在感を実感させたりし、居場所が実感できるようにしている。 不登校及び不登校傾向にある児童生徒に対しては、学校や関係機関等との連携を図りながら、基礎学力の補充、学校復帰への支援に努めている。</p> <p>ひきこもりがちな青年に対しては、社会的自立を促し、就労に向けた支援に努めている。</p> <p>【活動内容】</p> <p>1 自主活動 (1) 基礎学力の補充 (2) 進学・就労への支援</p> <p>2 集団活動 (1) 自然体験活動 (農園体験、園芸体験、ウォークラリーなど) (2) 社会体験活動 (宿泊体験活動、社会見学) コロナ感染症対策により中止 (3) 文化・スポーツ体験活動 (読み聞かせ、手芸・工作、調理実習、スポーツ、陶芸、ALTとの交流など)</p>				
事業年度	R3	R4	R5	R6	
事業費	予 算 額	6,127	6,523	6,893	8,216
	決 算 額	5,777	5,719	6,529	7,798
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	94.3%	87.7%	94.7%	94.9%
事業区分	その他	その他	その他	その他	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	1,200	1,200	1,200	0
	一般財源	4,927	5,323	5,693	8,216
事業の成果	<p>令和6年度は7人(小学生2人、中学生5人)が登録し、通所した。7人のうち中学3年生の3人が高校に進学した。 1年間で延べ31件の相談、延べ83名の見学・体験を受けた。 平成30年度から保護者の相談事業を毎月開催しており、きめ細かな保護者支援を行うことができた。</p>				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	<p>通所については原則保護者の送迎によるものとしているが、通所したくてもできない場合の対策として送迎体制を整える準備ができた。現体制では市内の拠点地域からの送迎としているが、今後は市外からの通所生への対応を考えていかなければならない。</p>				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R6
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	2 子供と向き合う教育環境づくり				
主 要 施 策	3 安全・安心な学校づくりの充実				
事 業 名	63 防災・安全教育推進事業				
目 的	大洲市防災教育推進連絡協議会を開催し、近隣学校や地域を巻き込んだ活動を進めるとともに、各学校・各園の実情に応じた防災教育・防災管理の充実を図る。				
事業実施状況	<p>大洲市防災センターにて、幼稚園・小中学校等の防災管理担当者及び市・地域の防災関係機関等の担当者が一堂に会し、協議を行ったり、学校防災アドバイザーの専門的観点からの指導助言を受けたりすることによって、それぞれの連携を促進するとともに、大洲市学校防災マニュアルや各学校及び園の防災マニュアルの改善を図った。</p> <p>アドバイザーとして参加した各関係機関から、講話をいただいた。国土交通省からは、現行学習指導要領に沿った「肱川流域の防災教育」についての授業展開例を紹介していただいた。また、大洲市危機管理課防災センター長・防災専門官から、避難所運営ゲーム「HUG訓練」を行っていただいた。各校の防災担当者が、学校施設を避難所として運用する疑似訓練を行うことができた。</p>				
事業年度	R3	R4	R5	R6	
事業費	予 算 額	0	0	0	0
	決 算 額	0	0	0	0
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
事業区分	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0
事業の成果	<p>専門家からの指導助言やグループ協議により、防災・減災に対する意識を高めることができた。また、洪水対策のための避難訓練の在り方等について協議することができた。</p> <p>市の実態に合った、防災学習について考えることができた。</p>				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	防災管理・防災教育の充実を図るため、各学校との連携を強化する必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R6
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	2 子供と向き合う教育環境づくり				
主 要 施 策	4 これからの学校経営の在り方の検討				
事 業 名	64 学校運営協議会の推進				
目 的	地域との連携を深め、学校・家庭・地域が一体となった教育を推進する。				
事業実施状況	<p>1 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）設置事業の推進 〈設置状況〉 令和2年度…平野小、平野中 令和3年度…肱川小、肱川中、新谷小、新谷中 令和4年度…菅田小、肱東中、栗津小、三善小、大洲東中、 長浜小、長浜中 令和5年度…大洲小、久米小、大洲南中、喜多小、平小、 大洲北中 ※ 市内8地区の学校で、学校運営協議会を設置完了 (令和6年度から全ての地区で開催)</p> <p>2 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）設置事業の推進 〈開催状況〉 各協議会において、年2～3回程度開催し、学校運営についての説明や意見交換等を行う。また、学校評価委員による学校ごとの評価を行い、学校経営の在り方などについて進言する。</p>				
事業年度	R3	R4	R5	R6	
事業費	予算額	815	1,735	2,260	3,200
	決算額	795	1,710	2,080	1,935
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	97.5%	98.6%	92.0%	60.5%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	795	1,710	2,080	1,935
事業の成果	<p>年次計画に沿った準備等を進め、令和6年度では、計画していた全ての校区に学校運営協議会を設置した状態で始まり、年3回の学校運営協議会を開催することができた。</p> <p>また、各学校の経営方針や運営方法等を地域の人にも周知し、学校評価を行う一助となっている。</p>				
自己評価	所 属 長	◎	担 当 者	◎	
課題・問題点	<p>年度当初から確実に組織を立ち上げ、各運営協議会において、学校や地域の特性に合った運営を行えた。更に地域との連携を深め、学校・家庭・地域が一体となった教育を推進してほしい。</p>				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R6
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	2 子供と向き合う教育環境づくり				
主 要 施 策	4 これからの学校経営の在り方の検討				
事 業 名	65 学校における働き方改革の推進				
目 的	「大洲市立学校における働き方改革検討委員会」を開催し、教職員の働き方を見直し、子供たちに効果的な教育活動を行うことができるよう必要事項を検討する。				
事業実施状況	<p>1 小中学校における業務改善の推進と教職員の時間外勤務時間の縮減</p> <p>(1) 令和6年度業務改善計画策定</p> <p>(2) 働き方改革検討委員会の開催（2回実施）</p> <p>(3) スクール・サポート・スタッフの増員計画</p> <p>2 大洲市立中学校に係る部活動方針の徹底</p> <p>(1) 方針に基づいた各中学校における推進</p> <p>3 ストレスチェック実施要領に基づく、大洲市立小中学校の教職員のストレスチェックの実施</p> <p>・年2回（7月、12月）実施</p> <p>・高ストレス者に対する各学校における面談の実施</p> <p>4 地域部活動推進事業検討班会を1回、地域部活動推進協議会を3回実施し、今後の部活動の在り方を協議</p>				
事業年度	R3	R4	R5	R6	
事業費	予 算 額	342	342	281	282
	決 算 額	43	38	37	30
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	12.6%	11.1%	13.2%	10.6%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	43	38	37	30
事業の成果	<p>校務支援システムの変更等により全教職員の時間外勤務時間は以前と比較すると減少しているが、まだまだ十分とは言えないのが現状である。</p> <p>引き続き定期的なストレスチェックを実施することで、各学校の実態が把握できた。</p>				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	<p>働き方改革に向けての意識が教職員及び保護者に浸透してきたものの、より一層の改善に向けた取組が必要である。今後も引き続き面談の定期的かつ適切な実施など、一層の対策が必要と考える。</p>				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R6
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	2 子供と向き合う教育環境づくり				
主 要 施 策	5 被災児童生徒への支援				
事 業 名	66 心のケア事業				
目 的	災害で心に強い衝撃を感じる体験をしたことにより、今後も身体的・精神的な不調を訴える子供に対し、専門的知識を持った相談員による特別巡回相談を実施し、心のケアを行う。				
事業実施状況	<p>○特別巡回相談の実施（2回）</p> <p>・災害体験により、身体的精神的に不調を訴え、不登校傾向になった子供とその親に対し、専門的知識を持った相談員による特別巡回相談を行った。</p>				
事業年度	R3	R4	R5	R6	
事業費	予 算 額	155	104	104	0
	決 算 額	35	35	89	0
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	22.6%	33.7%	85.6%	0.0%
事業区分	補助事業	補助事業	補助事業	補助事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	35	22	59	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	0	13	30	0
事業の成果	<p>災害により、不調を訴える子供とその保護者に対しての相談を行い、心のケアをすることができた。</p> <p>令和6年4月1日の大洲市こども家庭センターの設立により、業務を移行することになった。</p>				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	直接的に災害による心のケアが必要な子供は減っているようだが、行動面での落ち着きのなさや人間関係の困難さの原因の一つに、災害の影響があるのではないかとと思われるケースが増えてきている。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R6
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	2 子供と向き合う教育環境づくり				
主 要 施 策	6 教職員等の資質・能力の向上				
事 業 名	67 大洲市教育研究所運営事業				
目 的	大洲市の学校教育に関する専門的、技術的な研究調査および教育関係職員の研修を実施する。				
事業実施状況	<p>複雑化・多様化する課題に対して関係機関と連携した取組や研究を進め、研修の充実により教職員の専門的知識や資質の向上に努めた。</p> <p>1 教育研究所所員、専門委員会等による応募研究および発表 2 小中学校各教科班会、主任会、専門委員会単位での研究、研修会 3 不登校等の事例検討会（学期に1回開催） 4 不登校対応マニュアル改訂</p> <p>令和6年度には大洲市教育研究所研究大会（隔年開催）を開催し、市内関係職員の資質の向上を図った。 日時 令和7年1月22日 場所 大洲市民会館 講師 一般財団法人児童虐待防止機構オレンジCAPO 理事長 島田 妙子 演題 「虐待の淵を生き抜いて」 ～人にも自分にもあたらない社会をめざして～</p>				
事業年度	R3	R4	R5	R6	
事業費	予 算 額	5,111	3,937	3,899	4,768
	決 算 額	3,754	3,198	3,390	4,149
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	73.4%	81.2%	86.9%	87.0%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	3,754	3,198	3,390	4,149
事業の成果	<p>各班会・主任会を中心とした指導方法の工夫・改善を図る授業研究や、夏季休業等を活用した各種研修会や講習会などを通して、教職員としての専門的な知識や技能の習得、実践的な指導力向上を図るうえで成果を上げた。また、成果の一端を「研究紀要」としてまとめることができた。</p>				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	<p>教職員としての専門的な知識や技能の習得、実践的な指導力向上を図るうえで更に成果を上げ、「働きがい」につなげていくことが必要である。</p>				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R6
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	2 子供と向き合う教育環境づくり				
主 要 施 策	7 生徒指導の充実				
事 業 名	68 いじめ・不登校等対策協議会推進事業				
目 的	「大洲市いじめ・不登校等対策協議会」において各機関の意見の集約を行うとともに、協議会からの提言を踏まえて、問題解消に努める。				
事業実施状況	<p>大洲市いじめ・不登校等対策協議会を3回開催した。大洲市のいじめ・不登校の実態（いじめの状況・件数・きっかけ・内容、不登校の状況・要因など）について、大洲市いじめ・不登校等対策協議会委員からアドバイスを受けた。令和6年度は、いじめ認知件数はやや減少、不登校児童生徒数は前年度と同数であった。各事例の態様や対応策について協議した。また、提言を各小中学校に周知し、適切に対応するよう働きかけた。</p> <p>1 校区別「いじめ不登校に関する研修会」を開催し、各地域の実情に即した取組の推進 2 教職員の指導力の向上を図るための講演会の開催 3 各中学校において、生徒対象の「いじめ・不登校に関する研修会」の開催 4 ふれあいスクールと連携した不登校児童生徒、保護者への対応 5 県教育支援センターが運用する「メタサポキャンパス」や、各校が行うオンライン授業の参加等の啓発</p>				
事業年度	R3	R4	R5	R6	
事業費	予 算 額	276	261	261	261
	決 算 額	182	182	173	101
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	65.9%	69.7%	66.3%	38.7%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	182	182	173	101
事業の成果	大洲市いじめ・不登校等対策協議会委員長をはじめ、協議会委員からの確かなアドバイスを受けることによって、各機関との連携が図れるなど、大洲市の「いじめや不登校」対策がよりよい方向に向かうことができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	対策・対応等が市内の小中学校に確実に浸透できるよう、啓発活動も含めて取組を進める必要がある。				

基本方針８ 子供と向き合う教育環境づくり

【外部評価委員意見】

- 心理療法士について、メンタルヘルスのために支援は必要であるが、一人しかいらっしゃらないので体力的にも大変。予算があれば増員するなどの対策が必要である。

基本方針 9 安全・安心な教育環境の構築

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名		教育総務課	係 名	学校施設係	年度	R6
基 本 目 標		3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針		3 安全・安心な教育環境の構築				
主 要 施 策		1 学校施設・設備の充実				
事 業 名		69 学校施設長寿命化改修事業				
目 的		施設の老朽化対策、設備の更新や多様な学習形態に対応する長寿命化改修を行うことで、既設施設を80年以上使用できるようにするもの。				
事業実施状況		<p>【事業概要】 大洲市学校長寿命化計画（R3.1策定）に基づき、順次市内小中学校の長寿命化改修工事を計画に実施する。</p> <p>1 大洲南中学校 (1) スケジュール ①令和4年度 事前調査 ②令和5年度 実施設計 ③令和6～7年度 長寿命化改修工事 (2) 工事内容 施設の老朽化、設備の更新及び多様な学習形態に対応する長寿命化改修 一式（建築、電気機械設備、外構改修、その他付帯工事）</p> <p>2 肱東中学校 (1) 調査概要 長寿命化改修により既存施設を80年以上使用できるかどうか、経年変化度、鉄筋腐食度、躯体の状態等の調査を実施した。 (2) 調査内容及び結果 耐力・健全度調査、建築基準法適合調査、その他法令適合調査を実施した。</p>				
事業年度			R4	R5	R6	
事業費	予 算 額		4,109	33,018	399,461	
	決 算 額		4,106	32,463	398,536	
	繰 越 額		0	0	0	
	執 行 率		99.9%	98.3%	99.8%	
事業区分			市単独事業	補助事業	補助事業	
財 源	国庫補助金		0	0	47,629	
	県補助金		0	0	0	
	地方債		0	30,700	81,900	
	その他特財		0	0	0	
	一般財源		4,106	1,763	269,007	
事業の成果		令和6年度より大洲南中学校校舎（3棟）において、外壁や屋上防水の改修等の構造体の劣化対策・ライフラインの更新等により建物の耐久性を高めたり、トイレの乾式化や防火シャッターの改修など建物の機能や性能を引き上げたりする長寿命化改修工事を着手している。引き続き令和7年度の竣工に向け事業を実施する。				
自己評価		所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点		仮設校舎を建設したため、校舎やグラウンドの一部が使用できなくなっているが、学校現場にできるだけ負担をかけないよう、引き続き学校側と十分に協議を行いながら、事業を実施する。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校施設係	年度	R6
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	3 安全・安心な教育環境の構築				
主 要 施 策	1 学校施設・設備の充実				
事 業 名	70 閉校施設除却事業				
目 的	将来において利活用計画のない閉校施設について、老朽化した施設を撤去することにより地域住民の安全及び施設の維持管理費の節減を図る。				
事業実施状況	<p>【事業概要】</p> <p>耐震性がなく、地域、民間等の活用予定がない閉校施設について、地元協議を行った上で順次解体している。（平成29～30年度：4校7棟、令和2～3年度：5校7棟の解体工事を実施した。）残る施設（延べ22校24棟）は合併特例債の発行期限となる令和6年度までに解体工事を完了させるため、令和2年度に閉校施設除却計画を策定し、令和5、6年度の解体工事に向けて、地元協議・調整を行う。なお、令和6年度は令和5年度に設計業務を行った校舎等について解体工事を実施する。</p> <p>【令和6年度解体工事】</p> <p>3校1園 8棟</p> <p>○旧櫛生小学校校舎</p> <p>○旧予子林小学校校舎（2棟）・園舎・教員住宅</p> <p>○旧河辺中学校校舎（2棟）・プール</p>				
事業年度	R3	R4	R5	R6	
事業費	予算額	15,806	9,800	122,429	213,820
	決算額	15,332	8,800	114,135	197,158
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	97.0%	89.8%	93.2%	92.2%
事業区分	その他	その他	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	12,400	8,300	80,500	145,400
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	2,932	500	33,635	51,758
事業の成果	計画していた耐震性のない校舎の解体は全て完了し、地域住民の安全性確保及び維持管理に係る経費を節減することができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	耐震性があり解体を行わなかった建物等については、所管を市長部局に移管し、公的施設及び地元での活用や民間業者等の参入を目指すなど、利活用の検討を行う。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名			教育総務課		係 名	学校施設係		年度	R6	
基 本 目 標			3 豊かな学びを支える教育環境づくり							
基 本 方 針			3 安全・安心な教育環境の構築							
主 要 施 策			1 学校施設・設備の充実							
事 業 名			71 児童生徒用木製机椅子整備事業							
目 的			本市小中学校の児童生徒の机椅子については、全体の約7割が購入より20年を経過し、経年劣化による不具合や破損がみられるほか、机のサイズが旧JIS規格で小さく、学習端末を使用した授業に不向きであることから、地元木材を活用した机椅子の製作を行うことにより、学習環境の改善やSDGsの貢献を図る。							
事業実施状況			【事業概要】 1 主な仕様 材 質：大洲市産 ヒノキ 天板寸法：W650×D450（新JIS規格） 機 能：JIS規格2号から6号まで高さ調節可（机・椅子共） 2 製作予定数 1,550セット （製作予定期間 令和5年度～令和8年度） 3 木製机椅子を使用する予定の児童生徒 小学校5～6年生及び中学校1～3年生（大洲市内全域） ＜年度別 製造予定数＞ 令和5年度 300セット 令和6年度 400セット 令和7年度 400セット 令和8年度 450セット							
事業年度							R5		R6	
事業費	予 算 額						24,000		35,200	
	決 算 額						23,991		31,988	
	繰 越 額						0		0	
	執 行 率						100.0%		90.9%	
事業区分							その他		その他	
財源	国庫補助金						0		0	
	県補助金						0		0	
	地方債						0		0	
	その他特財						21,000		31,988	
	一般財源						2,991		0	
事業の成果			計画に基づき400セットの製造を地元業者に委託し、市内中学校8校の2年生教室に地元産の木製机椅子を納入することにより、学習環境の改善やSDGsの貢献を図ることができた。							
自己評価			所 属 長		○	担 当 者		○		
課題・問題点			木製机椅子の導入に伴い課題となる既存の老朽化した机椅子の利活用・処分について計画的に取り組む必要がある。							

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化振興課	係 名	図書館	年度	R6
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	3 安全・安心な教育環境の構築				
主 要 施 策	2 社会教育施設・設備の充実				
事 業 名	72 社会教育施設維持修繕等事業				
目 的	市民が安全で安心して学ぶことができるよう施設の維持修繕を行い、延命化を図るとともに、設備の充実を図る。				
事業実施状況	<p>1 図書館</p> <p>【一般修繕】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本館空調設備修繕ほか <p>【工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本館 照明器具・非常灯改修工事 ・河辺分館 河辺支所内部改修工事 <p>2 博物館</p> <p>【一般修繕】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・照明器具取替 <p>【工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4階5階照明器具取替増設工事 ・既存展示パネル移設撤去工事 				
事業年度	R3	R4	R5	R6	
事業費	予 算 額	117,901	7,674	96,571	12,816
	決 算 額	115,917	7,524	94,700	10,582
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	98.3%	98.0%	98.1%	82.6%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	39,722	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	84,300	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	31,617	7,524	54,978	10,582
事業の成果	図書館、博物館において、老朽化している各施設の修繕等を実施するなど適正な施設管理を行った。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	博物館が1978年（昭和53年）開館で築47年、図書館が2008年（平成20年）開館で築17年となる中、経年劣化による改修・修繕が必要になっている。利用者の安全と利便性に配慮し、緊急性の高いものから順次対処していくことが必要である。なお、現在の博物館については耐震性の問題があることから、移転を含めた施設再編の検討を行っている。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	スポーツ振興課	係 名	スポーツ推進係	年度	R6
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	3 安全・安心な教育環境の構築				
主 要 施 策	3 社会体育施設・設備の充実				
事 業 名	73 社会体育施設の充実と活用				
目 的	社会体育施設の設備の充実と利用者へのサービス向上に努め、利用促進を図るとともに、体育施設の改修を行う。				
事業実施状況	<p>体育施設の整備を行い、良質なスポーツ環境の提供と利用者へのサービス向上を図った。</p> <p>1 総合体育館床修繕</p> <p>2 徳森公園複合遊具修繕工事</p> <p>3 長浜スポーツセンター雨漏り修繕工事</p> <p>4 大成体育館解体工事</p> <p>5 晴海ふれあいパーク 高圧受電設備修繕工事</p> <p>6 長浜中学校高圧受電設備修繕工事</p> <p>7 総合体育館改修・大成体育館解体にかかる設計・監理委託</p> <p>■ 上記以外</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 修繕料 68件 ・ 備品購入費 6件 				
事業年度	R3	R4	R5	R6	
事業費	予 算 額	45,133	50,960	50,281	51,953
	決 算 額	27,576	39,808	47,512	51,170
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	61.1%	78.1%	94.5%	98.5%
事業区分	その他	その他	その他	その他	
財 源	国庫補助金	0	0	0	9,751
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	19,200	0	9,200
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	27,576	20,608	47,512	32,219
事業の成果	市内各地の社会体育施設の改修や備品の購入などにより、利用者の安全性と利便性が向上した。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	施設の老朽化や利用者のニーズの変化などを踏まえながら、優先度などを総合的に判断し、計画的な改修による施設の長寿命化を図り、施設照明のLED化を計画的に進める必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	スポーツ振興課	係 名	スポーツ推進係	年度	R6
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	3 安全・安心な教育環境の構築				
主 要 施 策	3 社会体育施設・設備の充実				
事 業 名	74 カヌー拠点施設整備事業				
目 的	肱川のカヌーの普及と推進を図る拠点施設として、利用者の利便性や、安全性及び競技力向上等の機能を併せもつカヌー艇庫の移転改築に向けて事業を推進する。				
事業実施状況	令和8年度供用開始予定の地域交流センターの複合施設として整備するカヌー拠点施設について、利便性、競技力向上、交流、観光などの機能をもつ施設となるよう、「肱川かわまちづくり計画」をもとに関係各所と連携を図りながら、管理運営の在り方、必要な備品・設備等について検討を行った。				
事業年度		R4	R5	R6	
事業費	予 算 額	484	0	0	
	決 算 額	484	0	0	
	繰 越 額	0	0	0	
	執 行 率	100.0%	0.0%	0.0%	
事業区分		市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	
	県補助金	0	0	0	
	地 方 債	0	0	0	
	その他特財	0	0	0	
	一 般 財 源	484	0	0	
事業の成果	大洲市肱南地域交流センター建設工事に向け、関係各所との打合せを重ね、センターの複合施設として整備するカヌー艇庫やオープンテラス等の在り方、管理運営について検討し、令和8年度運用開始に向けた予算措置等を行った。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	カヌーの普及促進、地域住民の交流施設、観光客の利用を主眼とし事業を進める必要があり、策定した「肱川カヌー艇庫整備基本構想」により、管理運営方法を検討していく必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	スポーツ振興課	係 名	スポーツ推進係	年度	R6
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	3 安全・安心な教育環境の構築				
主 要 施 策	3 社会体育施設・設備の充実				
事 業 名	75 大洲市総合体育館ＬＥＤ照明整備事業				
目 的	令和３年から水銀灯の製造、輸出入が禁止され、市内体育施設において水銀灯からＬＥＤ照明に改修する必要性が生じている。各施設の利用状況、改修の必要性を調査し、体育施設ＬＥＤ化改修を推進する。				
事業実施状況	アリーナ照明のＬＥＤ化改修工事を実施するとともに、令和６年４月17日に発生した地震によるアリーナ天井グラスボードの落下を受け、ボード落下対策を含むつり天井の耐震改修工事及び経年劣化の著しい正面玄関のカーペット、照明等の改修を行った。 【アリーナ】 天井ボード落下防止、照明器具取替(ＬＥＤ化) 【玄関ホール】 照明器具取替(ＬＥＤ化)、床・天井改修 【幼児体育室】 床改修				
事業年度			R5	R6	
事業費	予 算 額		0	59,257	
	決 算 額		0	57,750	
	繰 越 額		0	0	
	執 行 率			97.5%	
事業区分			市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金		0	0	
	県補助金		0	0	
	地 方 債		0	55,300	
	そ の 他 特 財		0	0	
	一 般 財 源		0	2,450	
事業の成果	令和７年度に開催される日本スポーツマスターズ2025愛媛大会において、大洲市総合体育館でバスケットボール競技が実施される。合併特例債を活用して、照明のＬＥＤ化に加えて、天井ボードの補強、玄関ホール床等の改修を行い、県内外からの参加者を歓迎する「おもてなし」の一助となった。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	施設の老朽化や利用者のニーズを踏まえながら、今後も計画的な改修による施設の長寿命化を図る必要がある。				

基本方針９ 安全・安心な教育環境の構築

【外部評価委員意見】

- 総合体育館は、ＬＥＤ化していただいたが、他の体育館については、水銀灯である。計画を立てて順次整備をお願いしたい。

空

白

參考資料

大洲市教育委員会外部評価委員会設置要綱

平成21年4月1日

大洲市教育委員会要綱第2号

(設置)

第1条 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)に基づく大洲市教育委員会(以下「教育委員会」という。)の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価(以下「評価等」という。)に関し、その客観性の確保を図るため、大洲市教育委員会外部評価委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、教育委員会の求めに応じて、次の各号に掲げる事項について意見を述べるものとする。

- (1) 点検及び評価方法の改善、充実にすること。
- (2) 教育委員会が実施した自己点検及び自己評価に関すること。
- (3) その他点検及び評価に関し必要と認めること。

(組織)

第3条 委員会は、委員5人以内で組織する。

2 委員は、教育に識見を有する者のうちから教育委員会が委嘱する。

(任期)

第4条 委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長は、委員の互選により定める。

3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

4 副委員長は、委員のうちから委員長が指名する。

5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議は、委員長が招集し、会議の議長となる。ただし、最初に行われる会議は、教育委員会教育長が招集する。

2 委員会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

- 3 委員会の会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 4 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を求めることができる。
- 5 委員会の会議は、公開できるものとする。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、教育委員会事務局教育総務課において処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

附則

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。